

恵那峡再整備基本計画

計画書



平成 26 年 3 月

恵那峡再整備構想策定検討委員会
恵 那 峡 活 性 化 委 員 会

事務局：恵那市役所商工観光課観光交流室

目 次

はじめに

恵那峡再整備の必要性	1
------------	---

1. 恵那峡の概要

1-1 社会的条件	3
1-2 観光動向	10
1-3 現況調査	15

2. 再整備基本方針

2-1 恵那峡再整備におけるコンセプト	28
2-2 再整備計画	31
2-3 概算整備費	47
2-4 恵那峡再整備年度別計画	49

3. ソフト事業実施基本方針

3-1 取組要素とターゲット	51
3-2 実施基本計画	53
3-3 実施体制	60
3-4 活動計画	64

4. 今後の課題	66
----------	----

資料編

資料1 計画策定の経緯	資料-1
資料2 恵那峡再整備構想策定検討委員会	資料-2
資料3 恵那峡活性化委員会	資料-12
資料4 来訪者アンケート調査	資料-20
資料5 平成24年度作成構想イメージ図	資料-33

はじめに

恵那峡再整備の必要性

恵那峡は、自然環境に恵まれた本市を代表する観光地であり、岐阜県の観光拠点として全国に知られている。

本市では、平成2年度から平成5年度にかけて「恵那峡ルネッサンス整備事業」に取り組み、さざなみ半島を中心として恵那峡周辺の整備を行ってきた。

整備した当時は、年間100万人以上の観光客が訪れる岐阜県でも、有数な観光地として栄えてきたが、それ以後、レジャーの多様化により観光客は年々減少し、現在では年間50万人程度に減少している。

このことから、恵那峡県立自然公園を中心として恵那峡の再整備を図り、多様な観光需要に応えられる総合的観光地へと再生することが求められている。

そのためには恵那峡の基本的な観光資源である森林や湖畔・峡谷などの自然環境の磨き上げと、恵那峡施設の再整備を図り、多目的でかつ秩序ある観光ゾーンを構築する必要がある。

再整備の計画にあたっては、単なる恵那峡周辺にとどまらず、広域的な観点から恵那峡の位置付けを行うとともに、本市が目指す方向や市民生活の観点から恵那峡のあるべき姿を検討する必要がある。

恵那峡の再整備計画は平成元年度に策定した「恵那峡再整備基本構想報告書」に基づき、平成2年度から平成5年度にかけて恵那峡ルネッサンス事業として整備されているため、前の再整備計画を参考にしつつ、新たな発想の元で恵那峡を磨き上げていくことが必要である。

また、整備にあたっては恵那峡の現況や本市における観光まちづくりの取組を十分に理解した上で、地元住民など多方面からの意見、提案を求め、再整備計画としてまとめていく必要があり、ハード事業に加え、恵那峡に多くの人が集まるためのソフト事業の充実も求められる。

このため、恵那峡再整備構想策定検討委員会を設置し、ワーキング方式によって主にハード事業について検討を重ねるとともに、恵那峡活性化委員会においてソフト事業の進め方を意見交換しつつ本計画を策定し、恵那峡の再整備を推進していく。

■恵那峡再整備基本計画区域

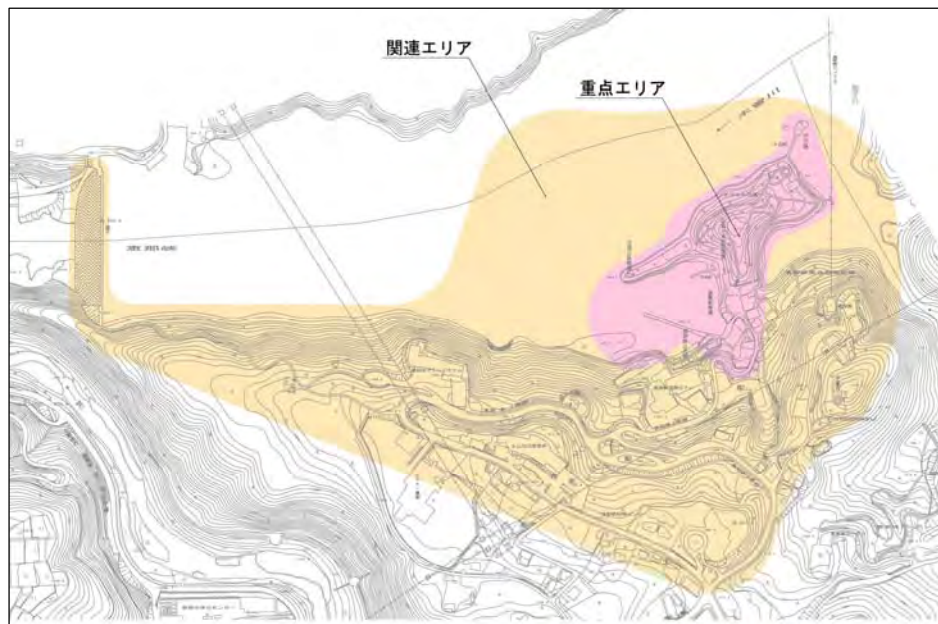
恵那峡再整備基本計画区域は、恵那峡を中心として下図のとおりとし、現在建設中の「(仮称)新東雲橋」も基本計画区域とする。



(恵那峡再整備基本計画区域)

■再整備における重点エリア・関連エリア

整備するにあたり、以下の図のとおり重点的に整備しなければならない箇所を「重点エリア」とし、これに付随する整備箇所を「関連エリア」として検討していく。



(再整備における重点エリア・関連エリア)

1. 恵那峡の概要

1-1 社会的条件

(1) 位置・交通アクセス

恵那峡は名古屋市から1時間、約70kmの距離にあり、鉄道駅や高速道路インターチェンジから約5km程の距離に位置する。

主なアクセス手段は、公共交通機関利用の場合はJR恵那駅より東濃鉄道株式会社路線バス「恵那峡線」・「蛭川線」にて、自動車利用の場合は、中央自動車道「恵那IC」より長島町奥戸線経由、若しくは、恵那市街地より恵那峡公園線経由が主体である。



(位置及び交通アクセス) 車アクセスルート

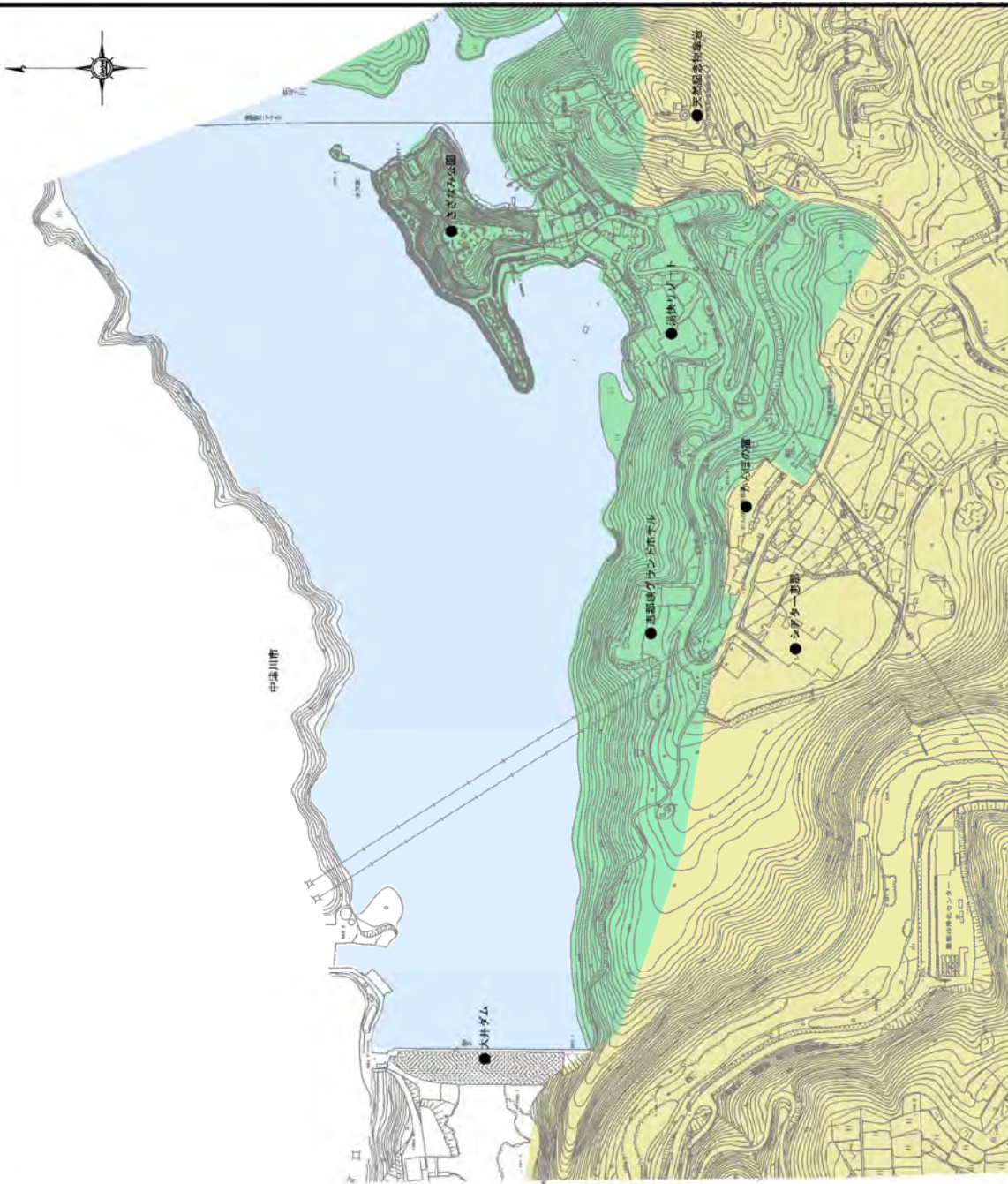
(2) 土地利用等の法令、制限

対象区域の土地利用等の法令、制限は以下のとおりである。

- 岐阜県立自然公園条例（特別地域、普通地域）
- 森林法（保安林指定区域）
- 河川法（河川区域、河川保全区域）
- 水利権による制限（利用禁止区域、利用制限区域）

①岐阜県立自然公園条例

規制・制限区域	特別地域 第1種特別地域、第2種特別地域 普通地域
許可等の権限者	特別地域 東志振興局 恵那事務所長 普通地域 恵那市長
手 続	特別地域 許 可 普通地域 届 出 特別地域 ● 工作物の新築・改築・増設 ● 木竹の伐採 ● 鉱物の採掘、土石の採取 ● 河川、湖沼等の水位、水量の増減 ● 広告物の設置等 ● 水面の埋立、干拓 ● 土地の形状変更 ● 屋根、壁面、鉄塔等の色彩変更 普通地域 ● 工作物の新築・改築・増設 ● 特別区域内の河川、湖沼等の水位、水量に一定規模を超えるもの ● 増減を及ぼさざる事 ● 広告物等の提出・設置・表示 ● 水面の埋立、干拓 ● 鉱物の採掘、土石の採取 ● 土地の形状変更
行為の禁止、制限 又は規制概要 (一部抜粋)	行為の禁止、制限

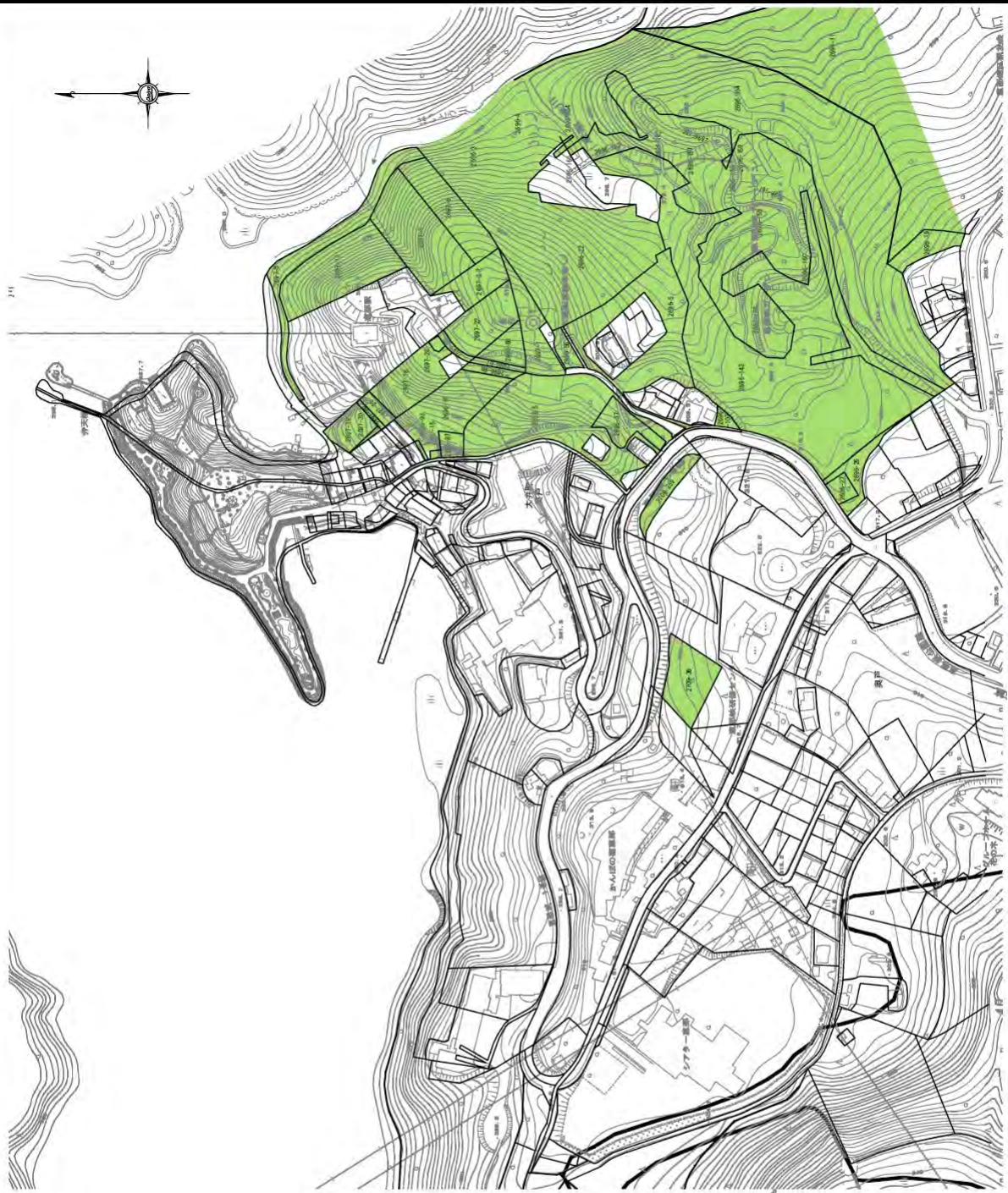


圖書區可與圖書館相結合——圖

威風卓卓立自然公園條例		第1種特別地域
		第2種特別地域
		普通地域

②森林法

規制・制限区域	保安林指定区域
許可等の権限者	岐阜県知事
手続	許可
行為の禁止、制限 又は規制概要	●立木の伐採 ●土地の形質の変更



図：保安林調査図 (H24.9.27)

保安林指定区域

③河川法

規制・制限区域	河川区域・河川保全区域
許可等の権限者	岐阜県知事
手 続	許可
行為の禁止、制限 又は規制概要 (一部抜粋)	河川区域
	●土地の形質の変更 ●工作物の新築、改築、占用 ●河川の産出物の採取 ●水利使用
	河川保全区域(河川区域より28m)
	●土地の形状、形質の変更 ●工作物の新築、改築

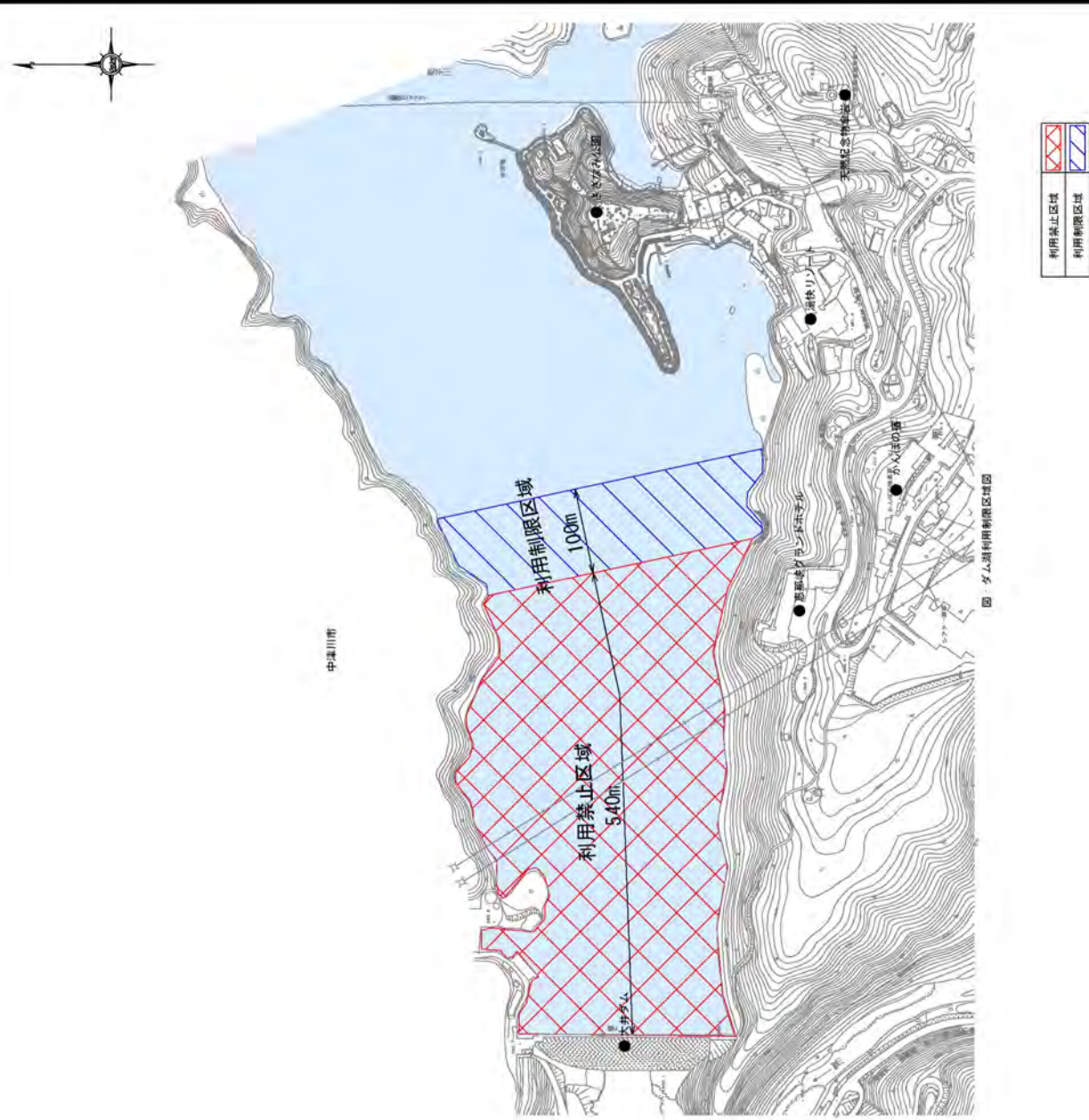


図：河川区域・河川保全区域図

河川法適用区域

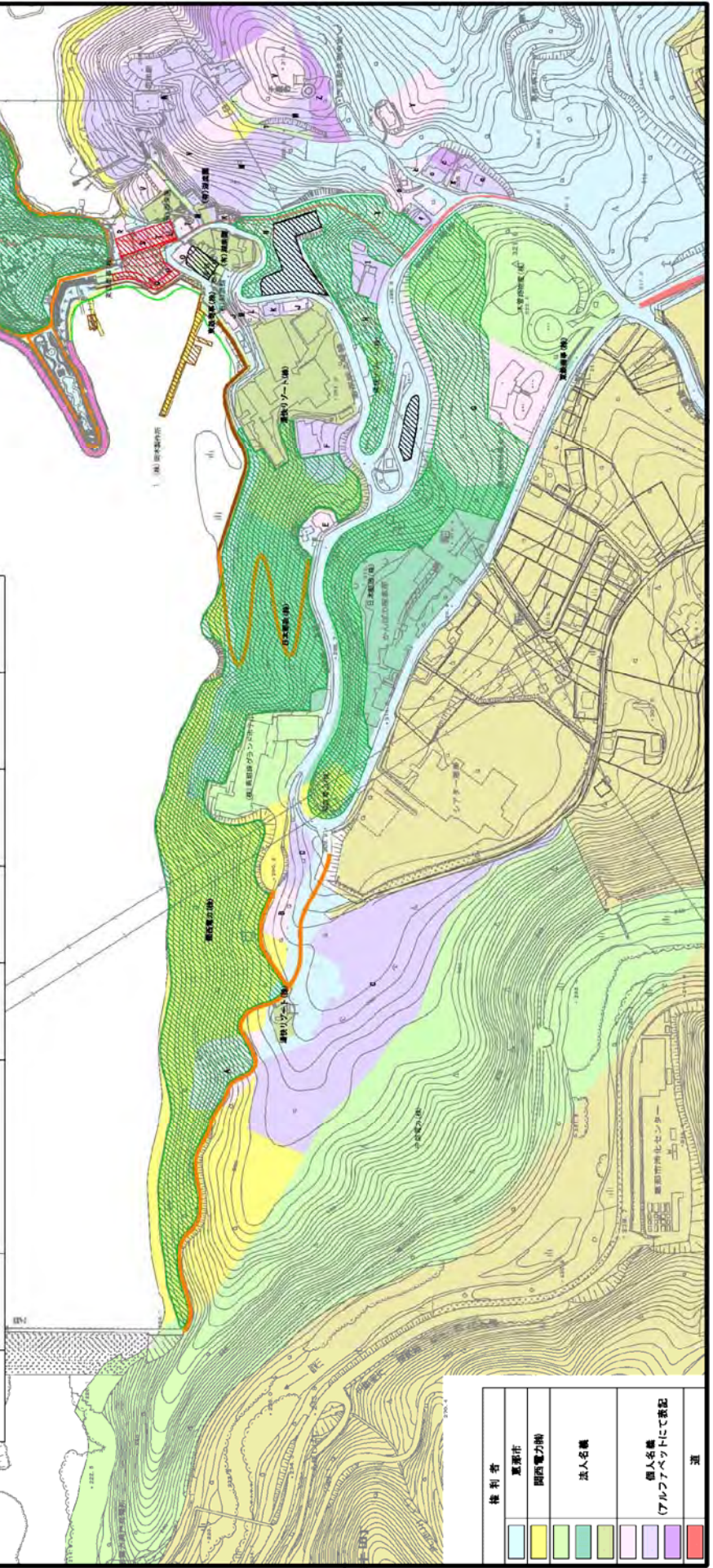
④水利用による制限

規制・制限区域	利用禁止区域 堰堤より540m 利用制限区域 利用禁止区域より100m
許可等の権限者	関西電力株式会社
行為の禁止、制限 又は規制概要 (一部抜粋)	利用禁止区域 ●船、いかだの通行禁止 利用制限区域 ●船、いかだの通行時間規制 (日の出～日没) ●通行速度規制 (2ノット以内)



再整備協議対象地所有者

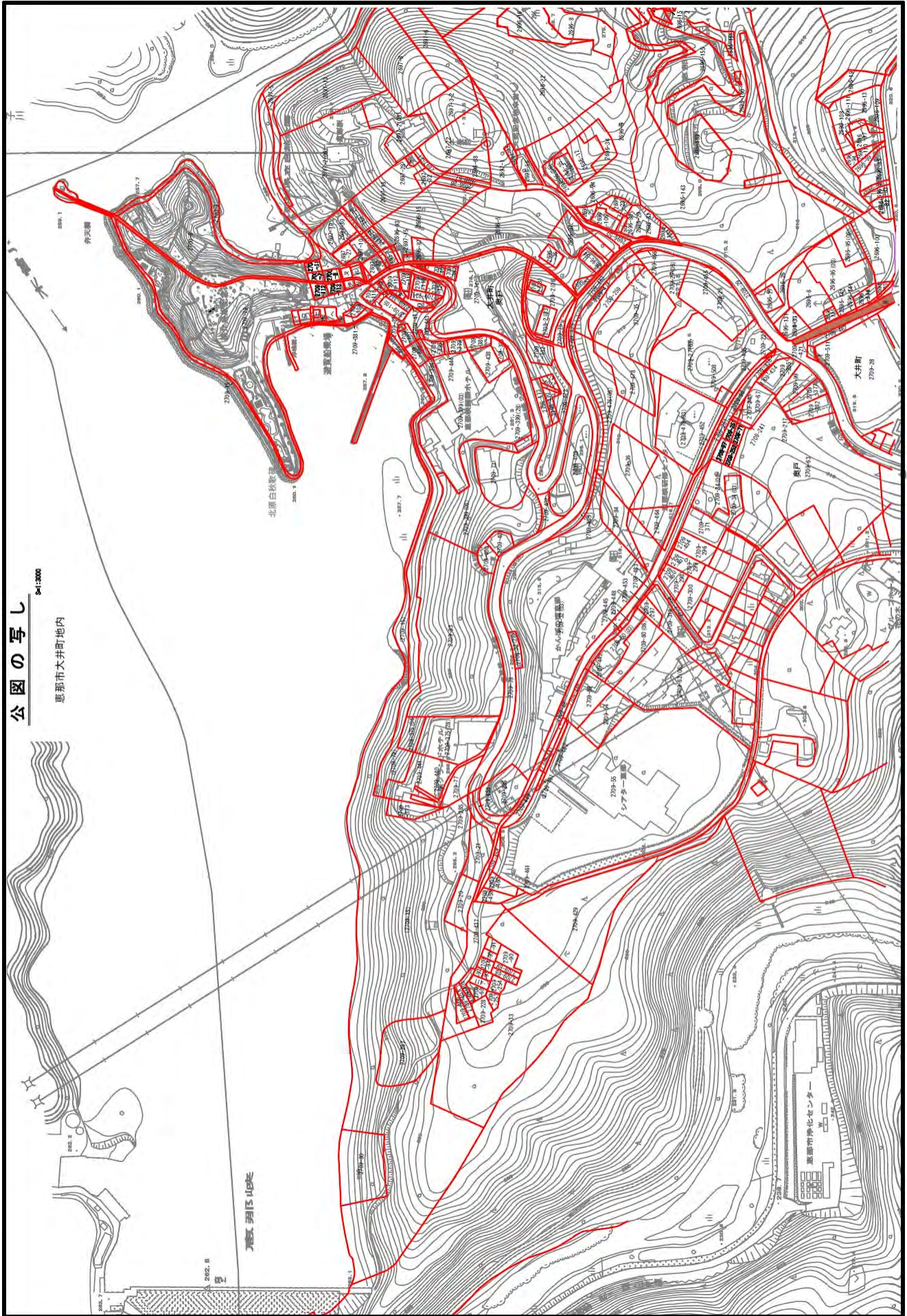
プラン対象地	河川・下り	遊歩道	林道整備 ウッドデッキ 遊歩道	店舗・ユーティリティ デッキ 遊歩道	ダム周辺の利用 弁天島・防波堤 防波堤の利用	駐車場整備 (遊覧船乗場付近)
後継内容	関西電力株 林道部除くランドホテル 日本郵政株 湯快リゾート株 本管路物産	関西電力株 日本郵政株 湯快リゾート株	関西電力株 東武鉄道株	関西電力株 東武鉄道株	関西電力株	東武鉄道株
協議対象者						



権利者
夏瀬市
関西電力株
法人名義
個人名義 (アルファベットにて表記)
河

S=1:3000

恵那市大井町地内



1-2 観光動向

全国にはダムの開発によって景観が損なわれたケースが多いが
この恵那峡は全く逆のケースで
自然の造形と人工物の融合によって誕生した景勝地である

引用：恵那峡. ウィキペディア. 2012-04-07.
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%81%B5%E9%82%A3%E5%B3%A1>,
(参照 2012-01-15).

日本初の発電用ダム「大井ダム」、その湖畔と木曽川沿いの雄大な自然、またそれら大自然を間近で感じることのできる遊覧船、自然と人工物の絶妙なバランスが与えてくれる感動と癒やしが恵那峡の素晴らしさである。

春にはさざなみ公園の桜をはじめ、藤やツツジも美しく咲く。夏には濃緑に赤い恵那峡大橋が映え、秋はモミジなどの紅葉が湖面を彩る。冬にはオシドリやムクドリなどが飛来しバードウォッチングもできるなど、四季を通じて楽しめるのが恵那峡の魅力である。



〈桜のシーズン〉



〈紅葉シーズン〉



〈遊覧船〉



〈大井ダム〉

恵那峡は、平成元年度の『恵那峡再整備基本構想報告書』に基づき、平成2年度から平成5年度にかけて『恵那峡ルネッサンス事業』として整備された。その事業は、恵那峡へのアクセスなどが主体となる基本的なインフラ整備とさざなみ公園周辺の整備だった。しかし、高速道路網の整備に伴い、各地に景勝地や歴史的観光地、アミューズメント施設など観光客の興味をそそる施設が次々と誕生し、恵那峡を訪れる観光客数は年々減少しピーク時の半分以下となってしまった。

(1) 恵那市・恵那峡の入り込み客数の推移

恵那市・恵那峡の入り込み客数の推移は以下のとおりである。平成 16 年以降、恵那市全体では増加傾向にある。一方、恵那峡は横ばいである。

(恵那市・恵那峡の入り込み客数の推移)

年 度	入り込み客数(人)	
	恵那市全体	恵那峡
平成 5 年	1,877,000	1,285,000
平成 6 年	1,841,000	1,248,000
平成 7 年	1,801,000	1,208,000
平成 8 年	1,798,000	1,198,000
平成 9 年 ※1	1,118,885	832,156
平成 10 年	1,064,132	704,334
平成 11 年	1,046,804	430,565
平成 12 年	955,562	341,677
平成 13 年 ※2	1,522,663	372,658
平成 14 年	1,241,683	517,892
平成 15 年	1,634,631	500,868
平成 16 年 ※3	2,931,155	461,696
平成 17 年	3,138,731	513,790
平成 18 年	3,163,399	465,201
平成 19 年	3,285,929	467,300
平成 20 年	3,311,249	461,912
平成 21 年	3,651,985	511,764
平成 22 年	3,519,753	525,885
平成 23 年	3,786,712	509,101
平成 24 年	4,085,220	514,321

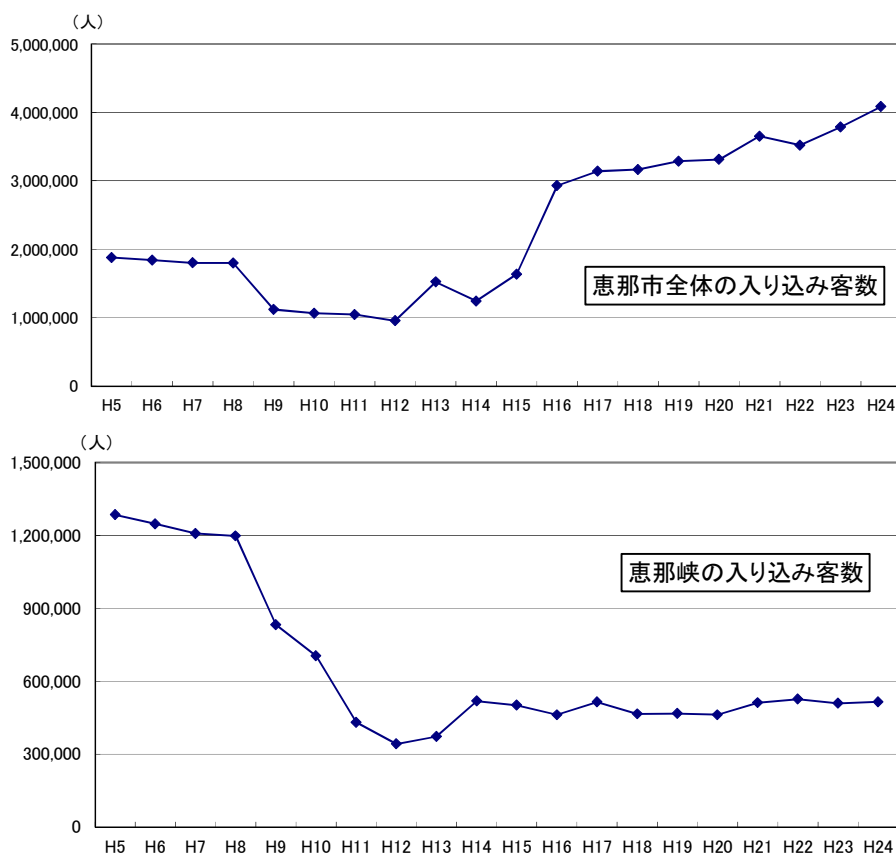
※1 平成 9 年度⇒調査方法の改正による減少。調査観光地点を、年間 1 万人以上から年間 5 万人以上の入込対象施設に変更したことによる減。

これにより、恵那峡の小規模な宿泊施設や売店の入り込み客数をカウントしなくなったことにより、大幅に減少している。

※2 平成 13 年度 恵那市分⇒中山道 広重美術館・らっせいみさとオープンにより増

※3 平成 16 年度⇒平成 16 年 10 月の合併による増加。

資料：岐阜県観光入込客統計調査



(2) 来訪者アンケート

①調査目的

恵那峡の再整備に向けて来訪者のニーズを把握するため、過去に恵那峡を訪れた経験のある人を対象としたアンケート調査を実施する。

②調査の概要

(調査の概要)

項 目	内 容
調査対象	東海、関東、関西、甲信越、北陸の各地方から5年以内に恵那峡を訪れたことのある人を抽出
回答方法	WEBアンケートへ回答者自身が記入
調査期間	平成25年8月9日(金)～8月15日(木)
回収数	517票

③結果の概要

■ 来訪者の属性について

- 来訪2回以上(リピーター)が半数以上である。
- 情報源は、口コミ、ガイドブック、インターネット、TVが多い。
- 子ども連れ家族や夫婦が多く、団体の来訪者は少ない。

■ 来訪の形態等について

- 滞在2時間以内が半数程度である。
- 自家用車利用が多い。
- 馬籠・妻籠、市内和菓子店、恵那峡ワンダーランドに立ち寄る来訪者が多い。

■ 金額について

- 飲食代、土産代、施設利用料は1千～3千円、もしくは0円が多い。

■ 恵那峡の魅力について

- 自然が9割、遊覧船・食べ物・温泉が2～3割を占めている。

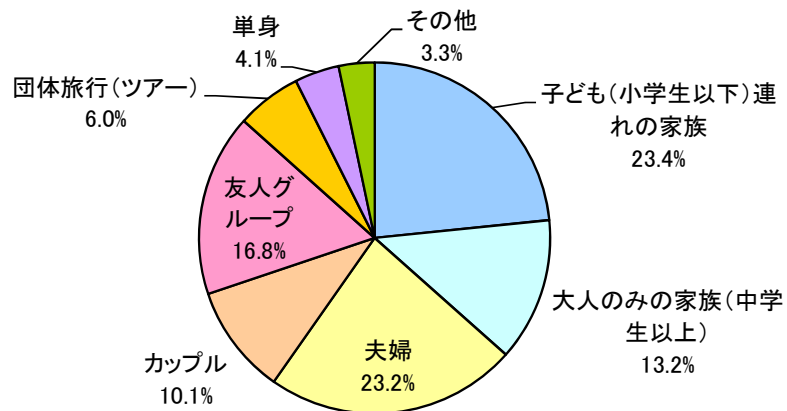
■ 魅力向上の施設・取組イメージについて

- 木や花により四季折々の自然が親しめることが恵那峡の魅力である。
- 「自然」「食」「体験」がキーワードである。
- 「夏」に訪れたいとする取組・イベントとして、キャンプ、花火、カヤック・ボートが多く挙げられている。
- 「冬」に訪れたいとする取組・イベントとして、温泉、郷土料理、ライトアップが多く挙げられている。

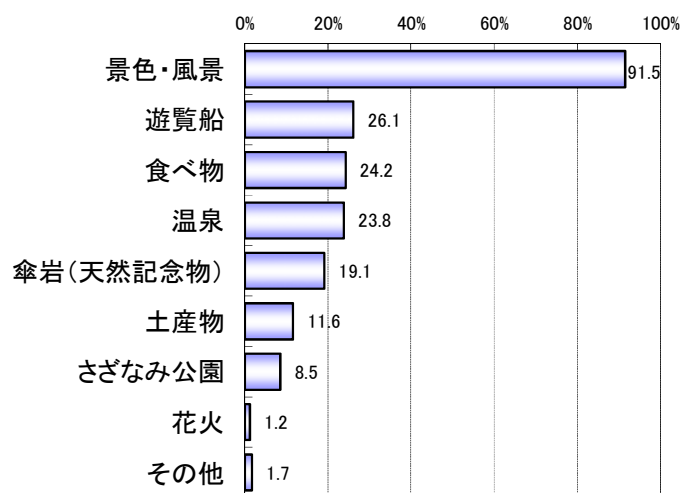
■ 来訪の意欲について

- 「また訪れたい」が9割を占めている。

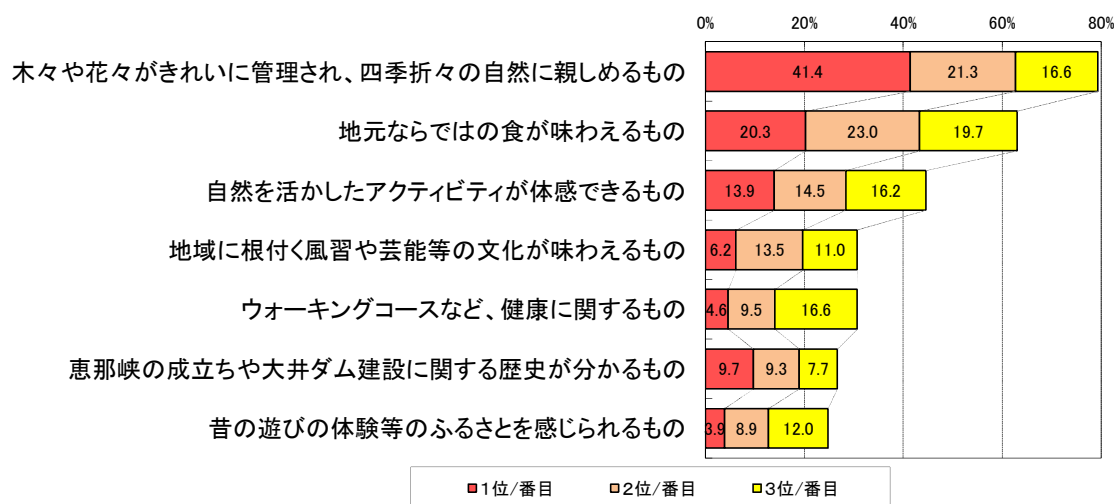
(詳細は、巻末の資料参照)



(恵那峡へ誰と来たか)



(恵那峡の魅力)



(魅力向上の施設・取組イメージ)

(3) 周遊歩行者数

①調査目的

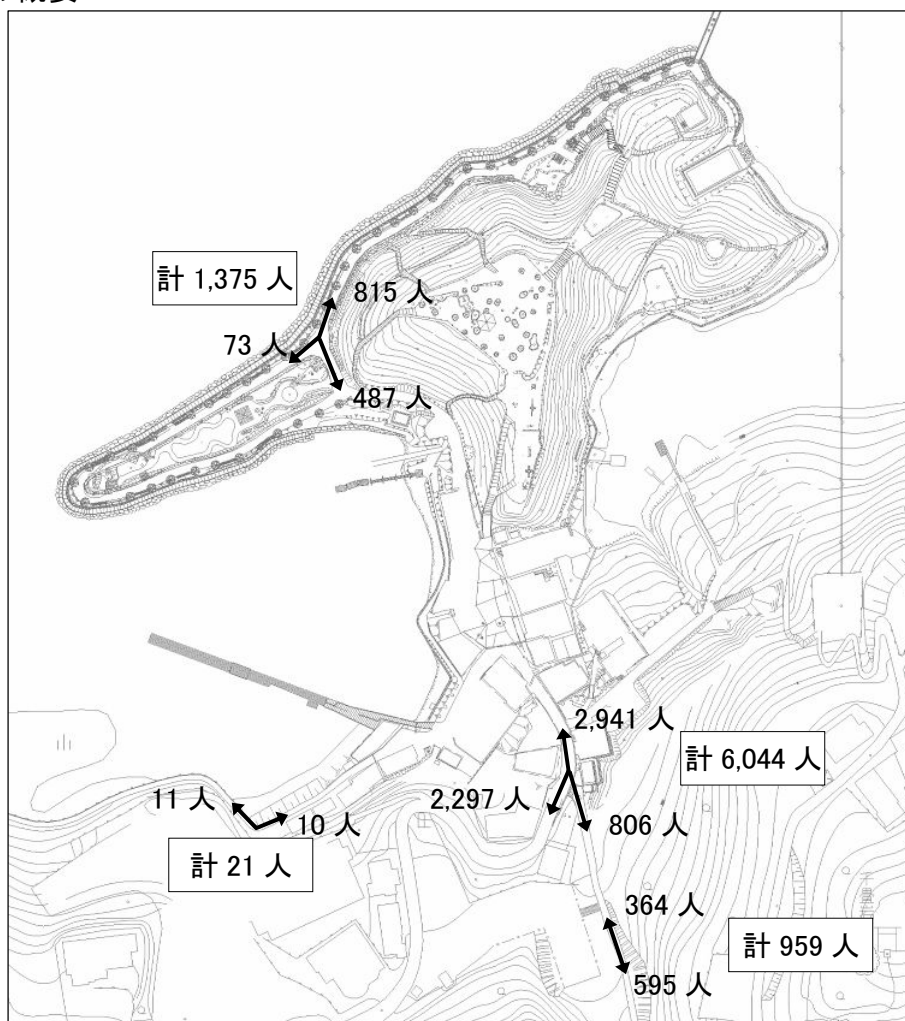
恵那峡の利用者数（周遊歩行者数）を把握するため、歩行者の交通量調査を実施する。なお、この数値を活用して整備後の効果を確認する予定である。

②調査の概要

(調査の概要)

項 目	内 容
調査箇所	下図の4箇所
調査期間	平成25年11月17日（日）9時～17時

③結果の概要



(周遊歩行者数調査結果の概要)

1－3 現況調査

(1) 恵那峡の現状

平成２年度から平成５年度にかけて『恵那峡ルネッサンス事業』により基本的な整備は行われたが、その後、環境の整備は当時のままの状態となっており、現在まで何も整備されていない状態である。

湖畔をとりまく山林は朽ちたままの倒木や荒れた雑木林がそのままの状態になっており、沿道から湖畔への眺望が非常に悪い状態である。さざなみ公園においては植栽した樹木の剪定などが必要である。

また、湖畔の水辺においてもその美しさを生かす植生となっていない。恵那峡の自然環境の整備は必須である。他にも、現在ある食堂や土産店などの施設が老朽化しており、観光客の視点を取り入れた、観光客が求める観光地として恵那峡全体の改修及び維持管理が急務である。

S=1:3000



現況図(2)

S=1:1250

③⑨ 北原白秋歌碑



③⑦ 恵那峡乗船センター



③③ 恵那峡公民館・救護所



③④ トイレ



③⑤ 休業中



③⑥ 米屋



③⑧ トイレ



浮桟橋

④① 桃介貞奴記念碑



④① 展望台



④② 恵那高ボートハウス



③① ゆかり



③② さざなみ



②⑨ 山水軒



③③ 知原館



②⑦ 山峡



②⑧ 恵川



①⑧ 美濃器



①⑨ トイレ



②⑩ 湖楽



②①



②②



②③ 休業中



②④ 恵那峡観光



②⑤ 湖楽園



②⑥ 米屋



現況写真位置図



現況写真 (1)

	
◆恵那峡1号線	◆恵那1号線沿い駐車場 間伐、下刈りなどの整備がされておらず、湖面を望むことが出来ない。
	
◆恵那峡1号線沿いからの眺望 間伐、下刈りなどの整備がされておらず、湖畔を望むことが出来ない。	
	
◆恵那1号線沿い 間伐、下刈りなど整備がされておらず、湖面を望むことが出来ない。	◆恵那峡1号線沿い 間伐、下刈りなどの整備がされておらず、沿道沿いの桜が生かされていない。

現 況 写 真 (2)

6



◆恵那峡1号線沿いからの眺望
さざなみ公園や湖畔等、恵那峡を一望できる場所だが、新緑の時期になると間伐などの整備が行われていない為、遮られてしまう。

7



◆恵那峡1号線沿いからの眺望

8



◆恵那峡1号線沿い。
間伐、下刈りなどの整備がされておらず、沿道沿いの桜が活かされていない。

9



◆恵那峡1号線、恵那峡2号線分岐

現 況 写 真 (3)

10



◆恵那峡2号線、湯快リゾート(株)恵那峡国際ホテル前

11



◆恵那峡2号線、駐車場付近

12



◆駐車場から公園へ続く道路からの眺望

現 況 写 真 (4)

13 	14 
◆駐車場から公園へ続く道路	◆駐車場から公園へ続く道路
15 	16 
◆駐車場から公園へ続く道路	◆駐車場から公園へ続く道路
17 	18 
◆駐車場から公園へ続く道路沿い	

現 況 写 真 (5)

19 	20 
◆さざなみ公園店舗前	◆さざなみ公園店舗前
21 	
◆遊覧船乗り場	
22 	23 
◆水辺 水生植物が、あまり見受けられない。植栽整備による水辺の景観の向上及び維持管理が課題となっている。	◆遊覧船乗り場 木製のため、腐食などの劣化が認められ、安全管理が課題となっている。

現 況 写 真 (6)

24 	
25 	26 
◆さざなみ公園店舗前からの眺望	◆さざなみ公園園路
27 	28 
◆さざなみ公園園路からの眺望	◆浮浅橋 腐食による劣化が認められ、今後の利用も含めて課題となっている。

現 況 写 真 (7)

29 	30 
◆北原白秋歌碑前広場	◆北原白秋歌碑前広場
31 	32 
◆さざなみ公園東屋	◆北原白秋歌碑
33 	34 
◆さざなみ公園園路 写真左側の園路は整備されているが、右側の湖沿いは敷石がしてあり利用出来るのだが、防護柵がなく安全上の問題で利用することができない。	◆さざなみ公園東屋

現 況 写 真 (8)

35 	36 
◆弁天島につながる橋 経年変化により、表面の塗装の剥離が目立つ。	◆弁天島 閑散としており、整備が行き届いていない。
37 	38 
◆さざなみ公園内展望施設 経年変化により、表面の塗装の剥離が目立つ。また、当施設へアプローチする散策路などの改善、清掃美化が求められる。	◆さざなみ公園散策路 湖畔の自然的な空間を満喫する散策路を形成している。所々に勾配が大きい箇所がある為、高齢者等の利用に関する改善が望まれる。
39  ◆さざなみ公園内展望施設からの眺望 恵那峡大橋から大井ダムまで「ダム湖百選」に認定された、湖とその周囲を取り囲む自然によって創られた水辺空間を一望できる。また、桜、緑、紅葉、雪景色と四季折々の美しさで楽しめる。	

現 況 写 真 (9)

40 	41 
◆さざなみ公園散策路にある平地	◆さざなみ公園内東屋 経年変化による老朽化と周辺の清掃美化の面で活用上の課題が認められる。散策路などが未整備な為、殆ど利用されていない。
42 	
◆桃介貞奴記念碑前広場	
43 	44 
◆さざなみ公園内東屋 経年変化による老朽化と周辺の清掃美化の面で活用上の課題が認められる。	◆桃介貞奴記念碑

2. 再整備基本方針

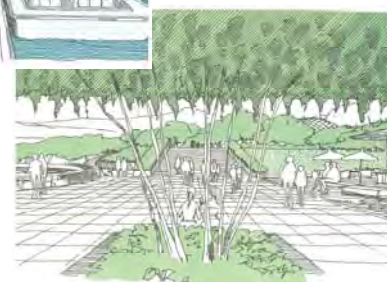
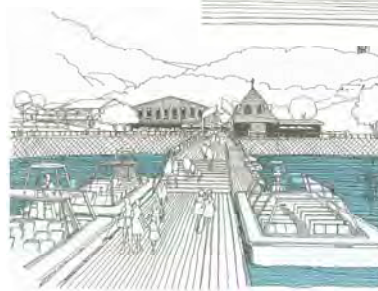
2-1 恵那峡再整備におけるコンセプト

恵那峡は、「きれい」になる整備と施設を生かすことで以前のにぎわいを取り戻すことが可能であると思われる。現在も自然が豊富であり、森林の整備や湖畔の整備、藤棚広場の改修、さざなみ公園の整備などにより、きれいな恵那峡を復活させることが必要である。

平成2年2月にまとめられた『恵那峡再整備基本構想報告書』に基づき『恵那峡ルネッサンス事業』が施工され、インフラ整備と基本的施設の骨組みは整備されている。この報告書には恵那峡のあるべき姿のコンセプトについて、次のとおり述べられている。

『恵那峡再整備構想報告書(1990. 2)』より
恵那峡ルネッサンスのコンセプト

- ◆ おしゃれ感覚のリゾート
- ◆ リピートしたくなるリゾート
- ◆ 自然が満喫できるリゾート
- ◆ イベントのあるリゾート
- ◆ カルチャーショックを与えるリゾート



現在の恵那峡は、このコンセプトの実現に向けて、途中の段階である。

この報告書にまとめられたことを継承しながら、現在、そして今後求められる恵那峡へと整備するためには、観光客がどのような恵那峡なら来るのか、行ってみたいと思うのか、リピートを誘発するのかなど、観光客の立場に立って考えることが必要である。

平成6年から、そのまま時間が経過した恵那峡に行くべきことは、恵那峡を「きれい」なところに再生することである。

沿道から見える湖畔がとてもきれいな恵那峡

水辺がとてもきれいな恵那峡

桜、モミジがきれいな恵那峡

さざなみ公園からみるダム湖がきれいな恵那峡

以上のことから恵那峡再整備計画のコンセプトを決定した。

恵那峡再整備のコンセプト



湖畔をとりまく自然から
四季があふれ出す
自然豊かな恵那峡

2-2 再整備計画

(1) 整備計画

コンセプトに基づき、恵那峡再整備構想策定検討委員会及び恵那峡活性化委員会にて検討を重ねた結果を踏まえ、恵那峡の再整備として、以下の整備計画を進める。

(整備計画)

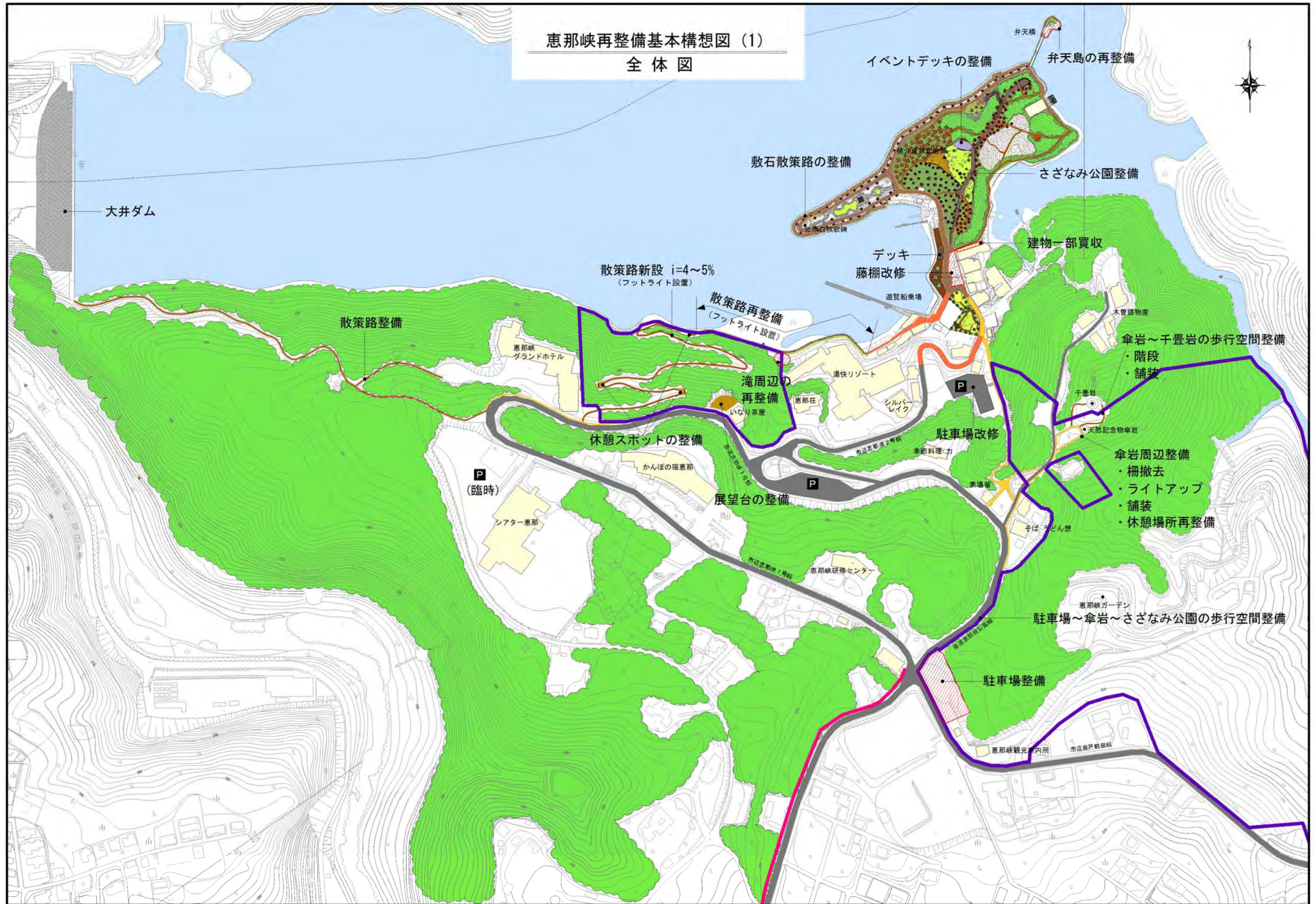
項 目		整備内容	今後の課題
森林整備	育ちすぎた森を整備することにより、さざなみ公園や散策道から湖畔を見渡せるようにする。	・間伐、下刈り ・自然環境への整備、保全	・森林の維持管理 ・関係地権者の承諾
散策道整備	散策道の再整備及び新規設置により、自然と共存するダム湖の景観を楽しむ。	・ウォーキングコースの整備 ・既存散策道の再整備 ・恵那峡グランドホテル東側散策道の整備	・関係地権者の承諾 ・施設及び森林維持管理
水辺整備	雑草を処分することにより、水辺の景観を向上させる。	・水辺の除草 ・湖面の景観向上 ・自然環境の保全 ・敷石散策路の整備	・水辺の維持管理
さざなみ公園整備	現在ある施設、景観を残しつつ四季、昼夜ともに一年を通して楽しめる空間をつくる。	・どんぐりの木の剪定及び伐採 ・モミジ、ハナモモ、桜の植栽 ・桜の剪定 ・芝の植生 ・日よけシェルターの設置 ・イベントデッキの設置 ・弁天島への植栽 ・橋へのイルミネーション（天の川）の設置 ・トイレの改修	・森林、施設の維持管理 ・関係地権者の承諾 ・施設の運営者

(整備計画)

項 目		整備内容	今後の課題
藤棚広場の整備	恵那峡の中心部ともいえる藤棚周辺広場を整備し、景観、利便性の向上を図る。	・デッキテラスの設置 ・既存店舗修景 ・広場整備（茶会で呈茶できる東屋の整備）	・藤の管理 ・既存店舗の協力
湖面の活用	現在、遊覧船のみの湖面活用からカヌーやカヤック、ボートなどのレジャー要素を取り入れていく。	・ボートスロープの改修	・関係地権者の承諾 ・水位の変化に対する安全管理
光の演出	街灯、フットライト、イルミネーションの設置などで恵那峡の夜の魅力を高め、滞在時間の拡大を図る。	・散策道のフットライトの設置 ・文化財へのライトアップ	・関係地権者の承諾
駐車場整備	現在の駐車場を再整備し、利用しやすくする。	・現在の駐車場の再整備 ・恵那峡マレットゴルフ場駐車場の整備	・関係地権者の承諾 ・シアター恵那からのシャトルバスなどの運行の検討 ・既存施設の利用（シアター恵那）
サイン整備	分かりやすい案内にして交通の誘導を図る。	・サインの設置	
桜並木整備	【長期的視点】 恵那峡へのアクセス道路の沿道に桜を植栽し景観を楽しむ。	・道路沿道での桜の植栽	・関係機関、関係者との協議・承諾 ・桜の管理
花木植栽周辺整備	【長期的視点】 恵那峡周辺の市有地約 20 ha に数種類の花木を植栽するとともに、散策路を整備し、県立自然公園にふさわしい環境を整える。	・人工林の伐採 ・数種類の花木の植栽（3 万本） ・散策路の整備	・保安林内の作業許可 ・関係機関との協議 ・花木の管理 ・植栽計画の立案

この整備計画を図に示すと次頁以降のとおりとなる。

全体図

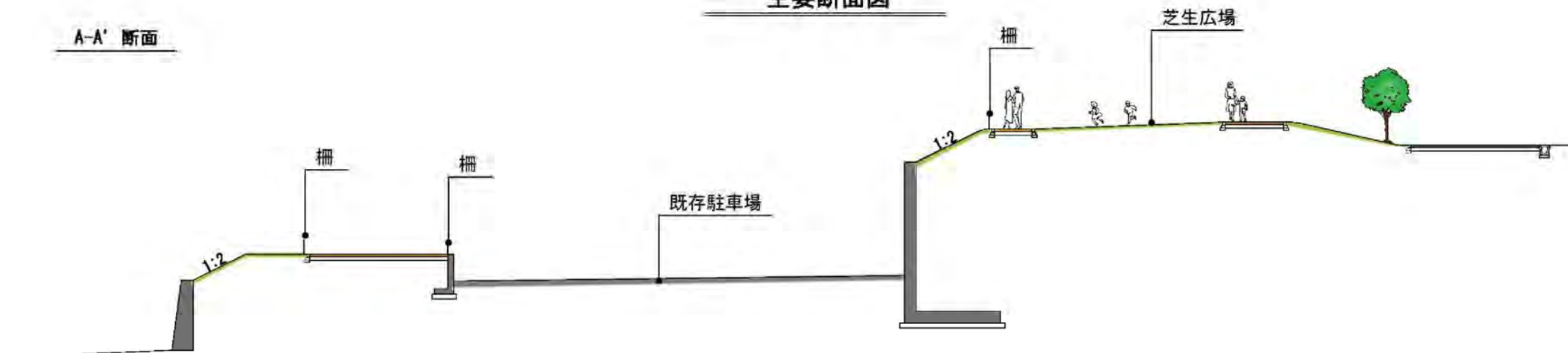


恵那峡再整備基本構想図 (2)

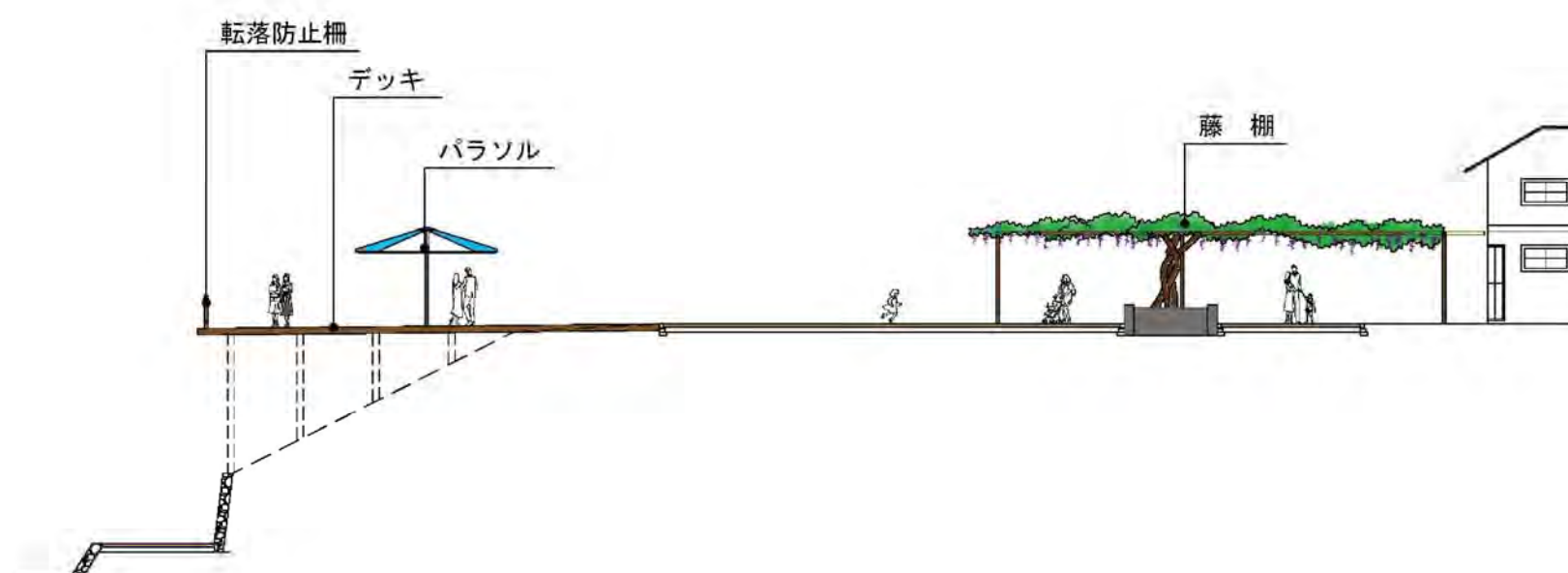


主要断面図

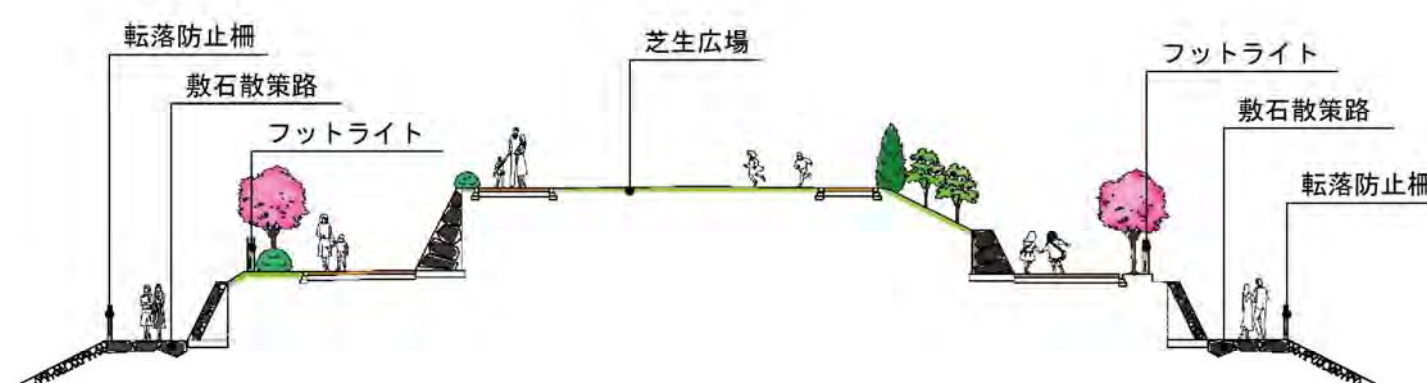
A-A' 断面



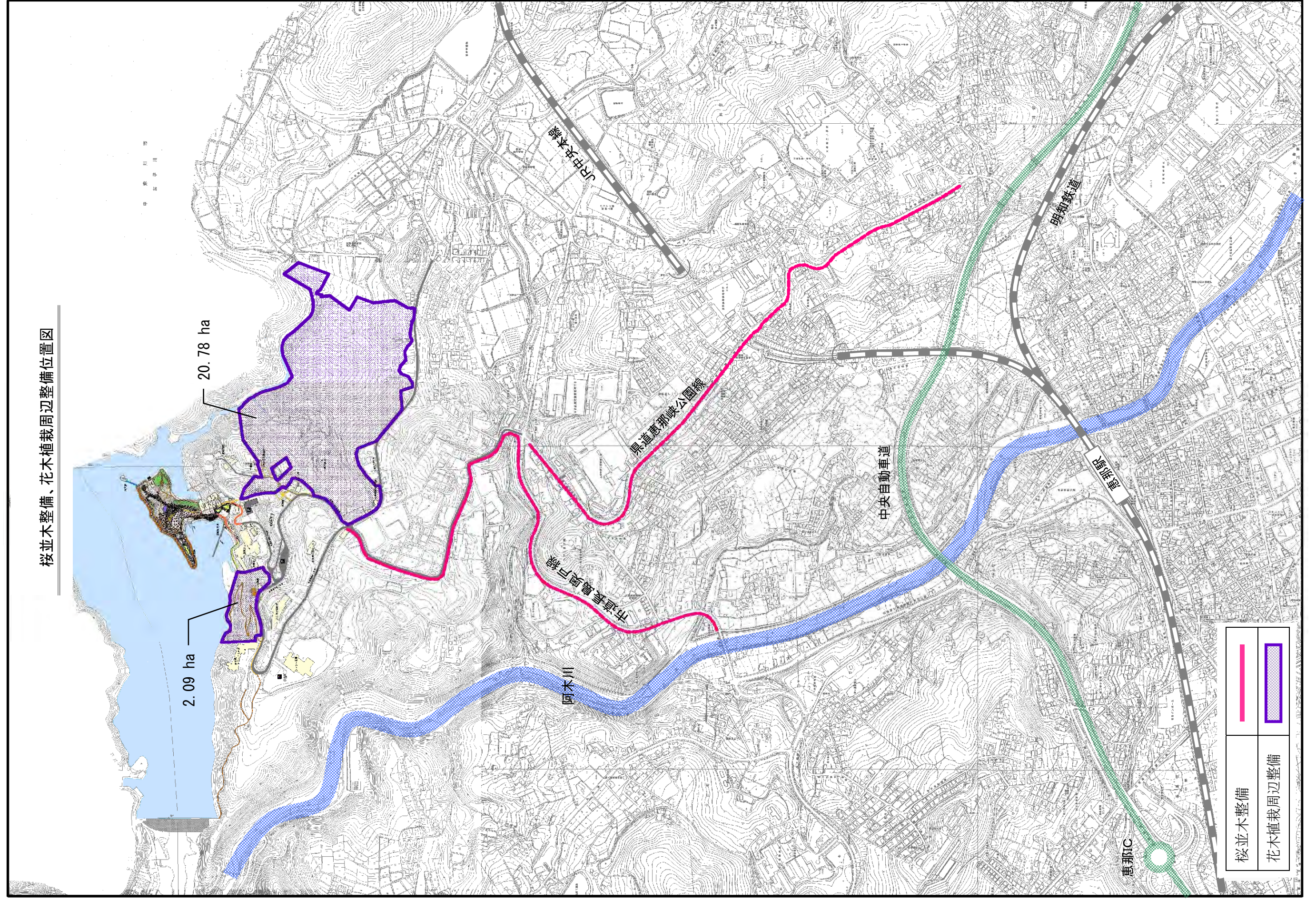
B-B' 断面



C-C' 断面

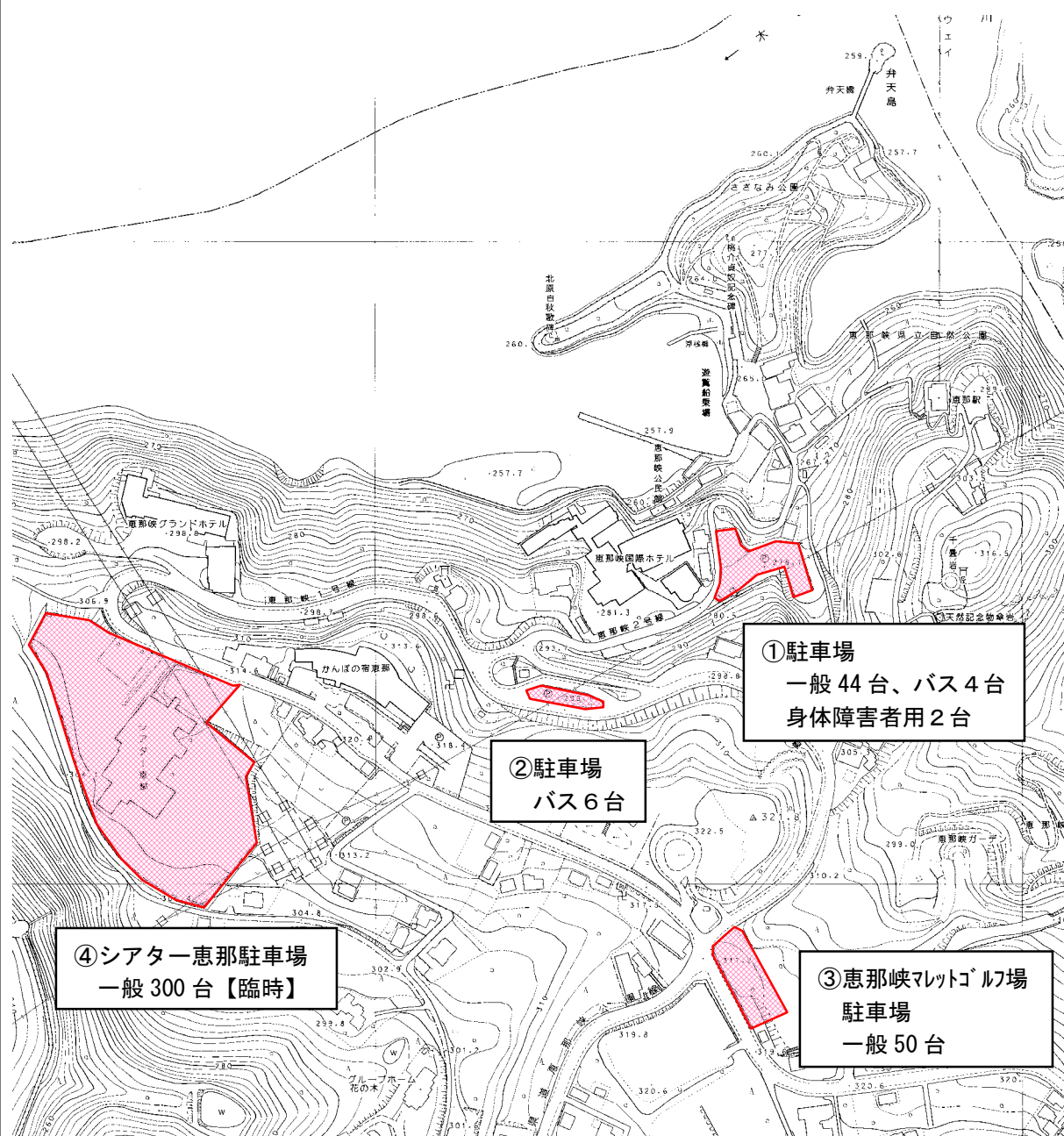


桜並木整備、花木植栽周辺整備位置図



駐車場整備計画図

S=1 : 5000



注 1) ①②④は、平成 24 年度恵那峡再整備基本計画報告書より

注 2) ③は、一般的な駐車場の 1 台あたりの必要面積が 25 m²であることから、駐車場面積 1,250 m²÷25 m²/台=50 台

位置	一般車用	身体障害者用	バス用	備考
①	44	2	4	既存駐車場再整備
②			6	既存駐車場再整備
③	50			恵那峡マレットゴルフ場駐車場の整備
④	300			シアター恵那駐車場（臨時駐車場）
計	394	2	10	

(2) 整備イメージ

①空間イメージ図



(空間イメージ図位置図)

A. デッキテラス



B. 芝生広場



C. 藤棚広場



D. 広場（湖樂園前）



E. 敷石散策路



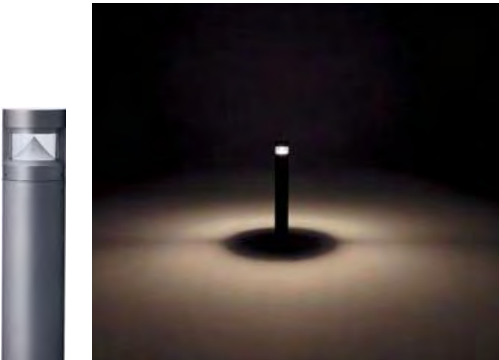
F. さざなみ半島園路



G. 森林散策路



②施設イメージ

散策路整備	
	
木チップ舗装（散策路）	ベンチ（森林散策路）
	
フラットライト（散策路）	修景舗装（県道恵那峡公園線歩道）
案内サイン整備	
	
総合案内サイン	誘導サイン

藤棚広場整備



デッキ



藤棚



休憩施設（デッキ）



照明灯



フットライト

広場整備(湖楽園前)



東屋



園路



ベンチ

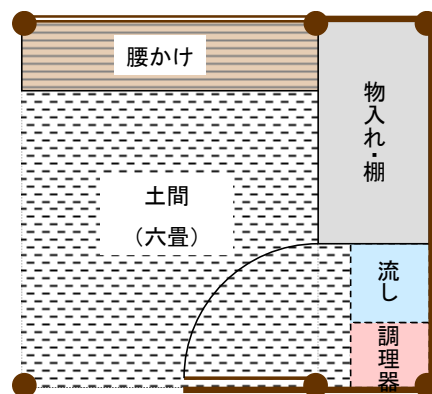


入口広場

■東屋の整備イメージ

湖楽園前の広場に設置する東屋は、お茶をたてる機能を持たせる。

- ・給排水、電気調理の設備
- ・物入れ、棚
- ・六畳の土間
- ・木造で紅白幕を掛けられる



(平面図)

さざなみ公園整備



イベントデッキの屋根



シェルター（芝生広場）



出典：信州・長野県観光協会 HP

ハナモモ



転落防止柵

弁天島整備



蓄光舗装（弁天橋）

水辺の空間整備



ソーラーLEDライト（敷石散策路法面）

2-3 概算整備費

2-2 再整備計画で示した計画をもとに、当面5年間については、社会資本整備総合交付金等を活用して整備を進めるものとし、以下にその概算事業費を示す。

(概算事業費)

名 称	形状寸法	単位	数量	単 価	金 額(円)	摘 要
森林整備						
森林整備	抜開	ha	0.9	78,000	70,200	
森林整備	処分	式	1	—	300,000	
森林整備	間伐	ha	8.6	213,000	1,831,800	除伐 30%、枝打ち 70%
森林整備	処分	式	1	—	4,000,000	
小 計					6,202,000	
散策路整備(既存あり)						
散策路再整備	チップ舗装・整地含む	m	210	8,000	1,680,000	湖畔際
散策路再整備	チップ舗装・整地含む	m	260	8,000	2,080,000	恵那峡グランドホテル～大井ダム方面
フットライト		基	70	100,000	7,000,000	散策路沿い L=210m
歩行者空間整備	修景舗装・取り壊し含む	m	350	15,000	5,250,000	駐車場～傘岩～さざなみ公園
歩行者空間整備	階段含む	m	80	15,000	1,200,000	傘岩～千畳岩
歩行者空間整備	修景舗装・取り壊し含む	m	280	15,000	4,200,000	恵那峡グランドホテル～いなり茶屋
小 計					21,410,000	
散策路整備(既存なし:森林整備部分)						
散策路新設	チップ舗装、抜開・抜根含む	m	570	25,000	14,250,000	湖畔～恵那峡グランドホテル
休憩スポット整備		箇所	3	500,000	1,500,000	造成・チップ舗装・ベンチ含む
フットライト		基	90	100,000	9,000,000	散策路沿い L=570m
小 計					24,750,000	
駐車場整備(既存改修)						
駐車場改修		m ²	1,130	18,850	21,300,500	既設舗装撤去・フェンス改修含む
階段改修		箇所	1	200,000	200,000	駐車場 既存階段撤去含む
小 計					21,500,500	
駐車場整備(新設)						
駐車場整備	造成・車輪止め含む	m ²	1,250	6,800	8,500,000	県道恵那峡公園線沿い
小 計					8,500,000	
傘岩周辺整備						
傘岩周辺整備		式	1	—	5,000,000	柵撤去・ライトアップ・舗装等
小 計					5,000,000	
案内サイン整備						
サイン整備	方向案内板	式	1	—	10,000,000	
小 計					10,000,000	
藤棚広場整備						
ベンチ		基	5	150,000	750,000	山側の修景
照明灯		基	10	300,000	3,000,000	
植栽、目隠し		m ²	150	10,000	1,500,000	山側の修景
滝周辺再整備		式	1	300,000	300,000	
吐口の修景		式	1	200,000	200,000	
維持管理用階段設置	門扉含む	箇所	1	100,000	100,000	
擁壁整備	平均 H=4m 程度	m	50	150,000	7,500,000	公園外周～民間駐車場外周(一部)
デッキ整備		m ²	660	200,000	132,000,000	藤棚西側・柵含む
デッキ屋根整備		m ²	90	80,000	7,200,000	6m×15m
藤棚縮小		m ²	90	20,000	1,800,000	既設藤棚撤去・改修
藤棚改良		m ²	450	30,000	13,500,000	既設藤棚改良
デッキ整備	藤棚下	m ²	450	100,000	45,000,000	
園路整備(勾配緩和)	ベンガラアスコン	m ²	120	10,000	1,200,000	既設舗装撤去・嵩上げ含む
小 計					214,050,000	

(次頁に続く)

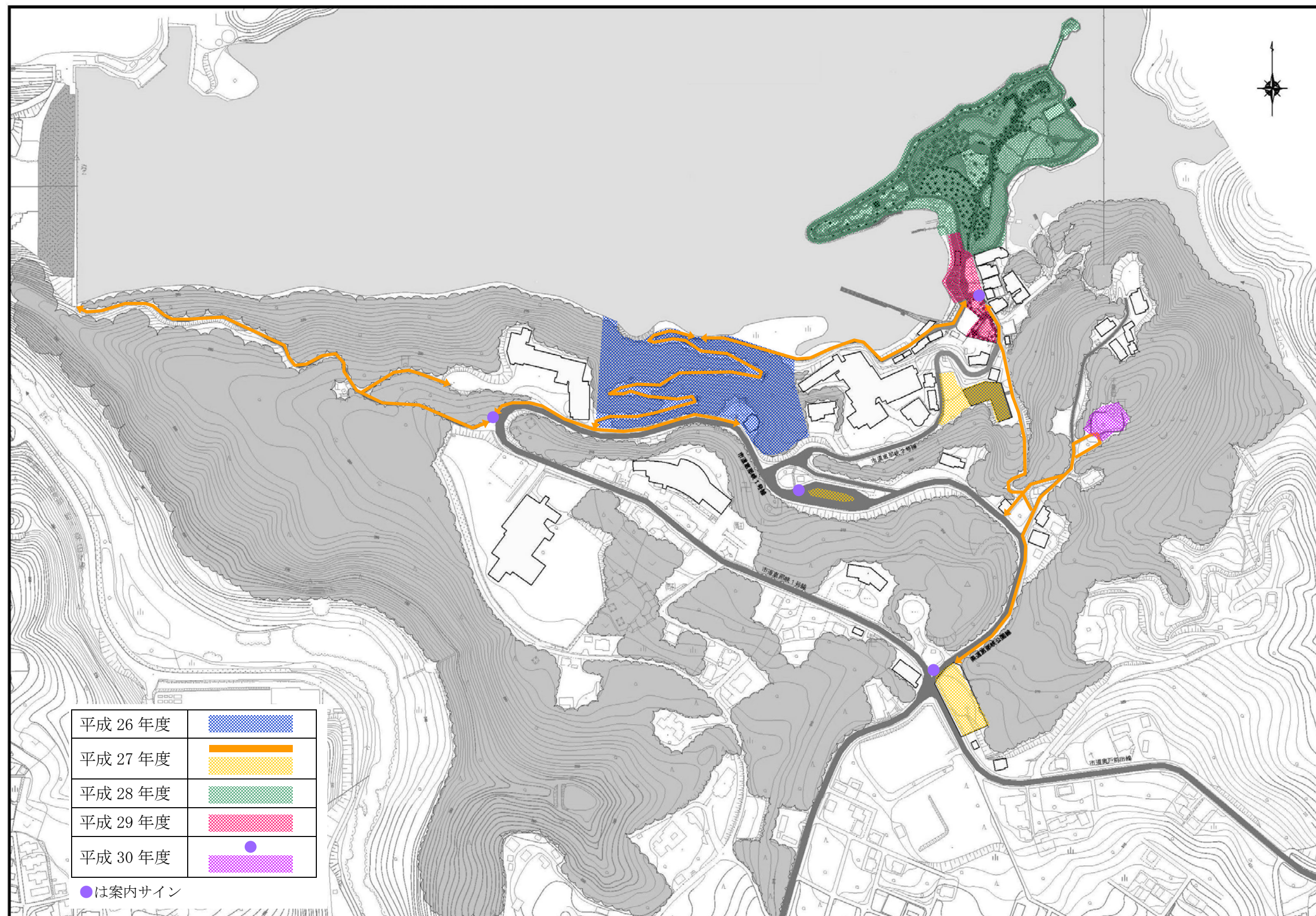
名 称	形状寸法	単位	数量	単 価	金 額(円)	摘 要
広場整備(湖楽園前)						
公園整備		m ²	880	18,000	15,840,000	園路・東屋・植栽等
休憩場整備	公園内	棟	1	7,000,000	7,000,000	
小 計					22,840,000	
さざなみ公園整備						
イベントデッキ整備	屋根付き	m ²	160	150,000	24,000,000	柵含む
ボートスロープ改修		m ²	100	30,000	3,000,000	
芝生広場整備		m ²	810	2,000	1,620,000	整地含む
柵		m	270	13,000	3,510,000	
シェルター		基	3	2,000,000	6,000,000	芝生広場等、展望スペース周囲
芝生の丘整備		m ²	180	2,500	450,000	造成含む
園路整備	修景舗装	m ²	730	10,000	7,300,000	展望スペース含む
シンボルツリー		本	1	200,000	200,000	
高木植栽		本	200	30,000	6,000,000	ハナモモ・桜・モミジ
低木植栽		m ²	800	1,200	960,000	
階段改修	手摺り含む	箇所	3	500,000	1,500,000	
散策路再整備	チップ舗装・整地含む	m	600	8,000	4,800,000	
照明灯		基	10	300,000	3,000,000	
コンセントボックス		箇所	5	150,000	750,000	芝生広場、周回園路内広場
フットライト		基	90	100,000	9,000,000	周遊園路部 L=450m
ボートハウス周辺園路整備	ILB 舗装	m ²	200	15,000	3,000,000	弁天島橋～管理者回転スペース
周回園路整備	チップ舗装、柵含む	m ²	360	16,000	5,760,000	ボートハウス～デッキ
トイレ整備(改修)		棟	1	2,000,000	2,000,000	
東屋(改修)		箇所	1	1,000,000	1,000,000	さざなみ半島既存施設
既存林の伐採・下草刈		m ²	7,000	1,000	7,000,000	
既存展望台取り壊し		式	1	—	5,000,000	
既存構造物その他取り壊し		式	1	—	1,000,000	
桜剪定	枝打ち	ha	0.3	200,000	60,000	
桜剪定	処分	式	1	—	150,000	
小 計					97,060,000	
弁天島整備						
弁天橋再整備		m ²	120	30,000	3,600,000	畜光舗装・高覧改修等
弁天島再整備		m ²	220	20,000	4,400,000	植栽・舗装・仕掛け等
小 計					8,000,000	
水辺の空間整備						
敷石散策路整備		m ²	870	20,000	17,400,000	
転落防止柵		m	440	15,000	6,600,000	敷石散策路
階段整備		箇所	2	250,000	500,000	敷石散策路～園路
既設擬木柵撤去		m	230	5,000	1,150,000	周遊園路部
小 計					25,650,000	
合 計					464,962,500	直接工事費
	諸経費		50%		232,481,250	
	計				697,443,750	
	消費税等		8%		55,795,500	
工事費合計					753,239,250	
調査設計費					43,815,300	
測量費					22,815,000	
用地・補償費					154,240,000	
総 計					974,109,550	

2-4 恵那峡再整備年度別計画

恵那峡の再整備の当面5年間について、施策ごとの年度別計画表を以下に示す。

(恵那峡再整備年度別計画表)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
森林整備	● 設計 → 整備				
散策路整備（既存改修）	● 設 計	● 整 備			
散策路整備（新設）	● 設 計	● 整 備			
駐車場整備（既存改修）	● 設 計	● 整 備			
駐車場整備（新設）		● 設計 → 整備			
傘岩周辺整備		● 設 計			● 整 備
案内サイン整備					● 設計 → 整備
藤棚広場整備			● 設 計	● 整 備	
広場整備（湖楽園前）			● 設 計	● 整 備	
さざなみ公園整備	● 設 計		● 整 備		
弁天島整備		● 設 計	● 整 備		
水辺の空間整備		● 設 計	● 整 備		
測量	● 測 量				



(恵那峡再整備年度別整備箇所図)

3. ソフト事業実施基本方針

平成 24 年度は恵那峡再整備構想策定検討委員会により、主にハード事業についての計画検討を行ったが、より多くの人を恵那峡に呼び込むためには地域の住民や企業等が企画・運営するイベントや恵那峡の自然景観をさらに美しくする取組などのソフト事業も必要である。

また、平成 24 年度の恵那峡再整備構想策定検討委員会においても「ソフト面の充実を図る必要がある」との意見があったため、平成 25 年度は恵那峡地区の主要な事業者からなる「恵那峡活性化委員会」を立ち上げ、ソフト事業の内容や体制等の検討を行った。

3-1 取組要素とターゲット

概ねのソフト事業の内容を設定するため、ソフト事業の取り組むべき要素と集客するターゲットの検討を行った。

恵那峡が持つ自然や景観等の資源を活かし、魅力的な空間に創り上げていくため、「どういうターゲット」に対し「どういう要素の取組を進めるか」について、まずは、次頁のマトリックス表を用いて、該当する箇所に丸印をつける方法で委員の意見を把握した。

その結果「自然」「体験」「食」の取組要素で、ファミリー、シニア、カップルをターゲットとする回答が多かった。

また、来訪者アンケートの結果からは、家族連れや夫婦で訪れる人が多く、また恵那峡の魅力や魅力向上の施策・取組イメージは「自然」「体験」「食」が多く、委員の意見とほぼ同様の結果となった。

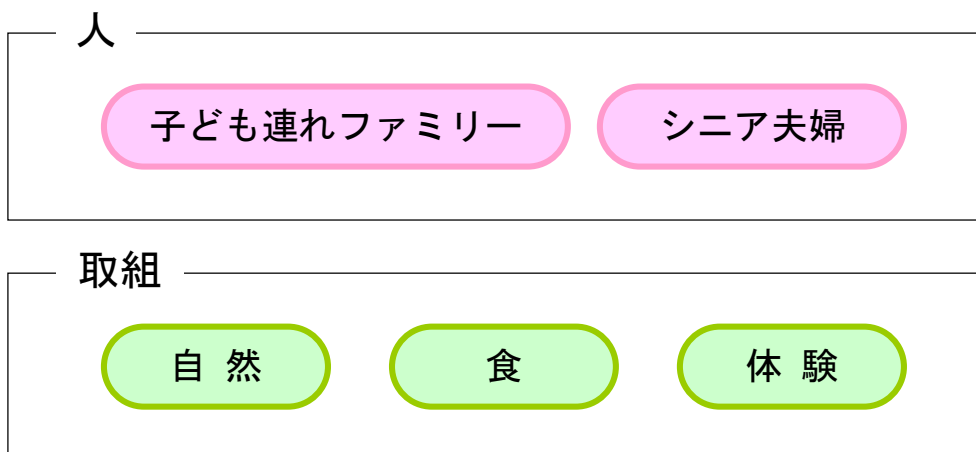
この結果、次頁の表中に示す、赤枠に該当する部分を恵那峡におけるソフト事業の取組要素とターゲットとして設定した。

(ターゲットについての委員の意見とアンケート結果)

ターゲット 取組の要素	団体	ファミリー	シニア	カップル	単身	その他
自然	★★★★★ ★★	★★★★★ ★★★★★ ★	★★★★★ ★★★★★ ★★★★★	★★★★★ ★	★	★★
ふるさと	★★★	★★★★★	★★★★★ ★	★★★		
文化	★★★	★★★	★★★★★ ★★	★	★	★
歴史	★★	★	★★★★★ ★		★★★★	
体験 (冒険、料理等)	★★★	★★★★★ ★★★★★ ★	★★★	★★★★★ ★★	★	
食 (店舗)	★★★★★	★★★★★ ★★★★★	★★★★★ ★★★★★	★★★★★ ★★	★★★	★
食 (イベント)	★★★★	★★★★★ ★★★★★	★★★★★ ★★	★★★★★ ★★	★★★★	
健康	★★	★★★★★	★★★★★ ★★★★★	★	★	
その他 (遊覧船等)	★	★		★	★	★

注) ★は委員の回答数であり、半数以上の委員が回答した欄はオレンジに着色した。
青枠、茶枠は来訪者アンケートの回答が多かった項目を示している。

■取組要素とターゲット



なお、来訪者の地域については、来訪者アンケートの結果から、東海地域が多かったことや、日帰り、自動車利用がほとんどを占めるため、「東海エリア」とする。

3-2 実施基本計画

(1) 実施するソフト事業（案）

取組要素とターゲットを念頭に置きながら、入り込み客数が落ち込む冬季を含めて四季を通じて恵那峡に人が集まるよう、ソフト事業を実施していく必要がある。また、実施する際には、できる限り市民や企業を巻き込んで行い、恵那峡に対する理解や愛着を深めていくことが望まれる。

このため、恵那峡活性化委員会の意見等を踏まえ、当面実施するソフト事業（案）としては、以下の内容を予定する。

(実施するソフト事業（案）)

春	恵那峡クリーン・ウォーク 恵那峡桜茶会（継続実施）
夏	恵那峡カヤック・ボート体験
秋	恵那峡もみじ茶会（継続実施） 恵那の物産市[えなマルシェ]
冬	恵那峡バードウォッチング・温泉めぐり （継続実施）

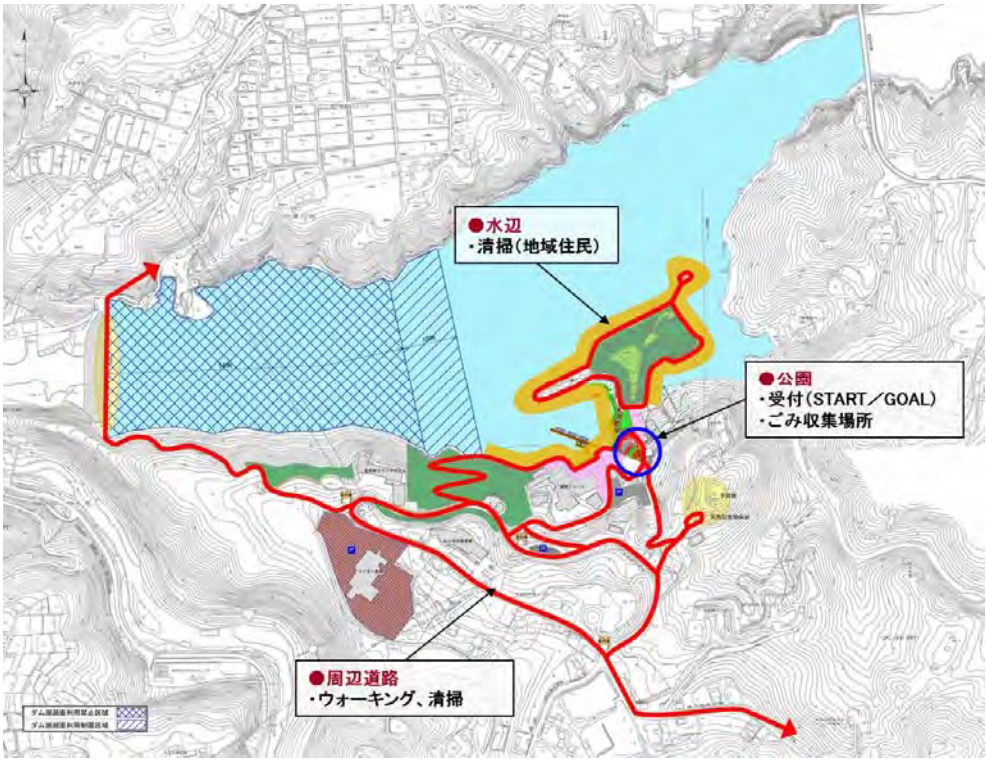
(2) ソフト事業（案）の内容

ソフト事業（案）の具体的な内容及び実施場所を次頁より、整理する。

春

恵那峡クリーン・ウォーク

恵那峡の美しい自然や観光地としての美観を維持・向上するとともに、市民等の恵那峡への愛着と理解を高めるため、恵那峡を清掃しながら歩くイベントを実施する。

項 目	概 要
内 容	・恵那峡周辺を歩きながらゴミを拾う ・スタート地点で軍手とゴミ袋を配布する
対 象	・恵那市民 ・近隣市町住民
主 体	・自治会 ・市民団体（清掃美化、環境保全、まちづくり分野） ・恵那市観光協会 ・恵那市
場 所	・さざなみ公園、公園周辺の水辺 ・恵那峡周辺の道路
協 力	・参加者へのサービス（参加賞、施設利用や割引等） ・人材の提供 など
課 題	・コースや範囲の設定 ・参加方法（自由参加、募集参加） など
場 所	

春

秋

恵那峡桜茶会・恵那峡もみじ茶会

来訪者に恵那峡の自然景観と恵那市特産の和菓子を抹茶とともに楽しんでもらうため、野点によるお茶会を実施する。

項 目	概 要
内 容	抹茶をふるまう (有料：和菓子付 300～500 円)
対 象	シニア層（花見客など）
主 体	- 恵那市茶道連盟 - 恵那市観光協会恵那峡支部
場 所	- さざなみ公園の芝生広場 - 広場（湖楽園前）
協 力	和菓子の提供 など
課 題	—

恵那峡桜茶会

恵那峡もみじ茶会

平成 25 年度実施時の P R チ ラ シ

場 所



夏

恵那峡カヤック・ボート体験

恵那峡の水辺空間を有効に活用した自然体験のアクティビティとして、カヤックやボートの体験イベントを実施する。

項 目	概 要
内 容	・初心者向けのカヤック・ボートの体験教室を実施する（有料）
対 象	・子ども（家族連れ） ・シニア層
主 体	・名門カヤック大学（代表伊藤氏） ・恵那市観光協会
場 所	・さざなみ半島の東側入り江～恵那峡大橋
協 力	・遊覧船の速度を落とす ・日帰温泉の提供、料金の割引サービス など
課 題	・カヤック・ボートの保管場所、受付・待機場所の確保 ・合同で開催するイベント（虫とり、流しそうめん 等）があると良いなど
場 所	●ボート倉庫前斜路 ・乗船場 ●さざなみ公園東側 ～恵那峡大橋 ・体験場所 ●芝生広場 ・受付・講習 恵那峡大橋

秋

恵那の物産市 [えなマルシェ]

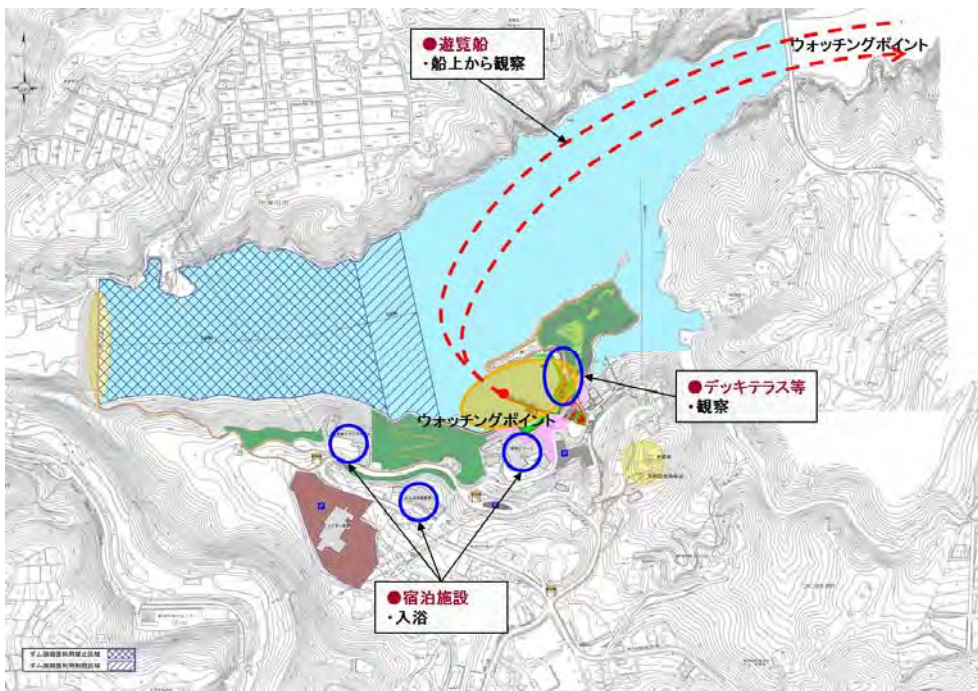
恵那市や恵那峡の魅力をより多くの人に味わってもらうため、恵那市の特産品等を販売・PRする物産市を開催する。

項 目	概 要
内 容	・和菓子などの恵那の特産品等を販売・PRする ・秋の恵那峡もみじ茶会に合わせて実施する（集客の相乗効果）
対 象	・シニア層
主 体	・恵那峡にぎわい実行委員会 ・恵那市観光協会 ・恵那市
場 所	・デッキテラス ・広場（湖楽園前）
協 力	・各店舗（活性化委員会メンバー）の出展 ・料理人の提供 など
課 題	・出展者の選定 など
場 所	

冬

恵那峡バードウォッチング・温泉めぐり

恵那峡の自然を活かして、冬季の集客を図るため、遊覧船でのバードウォッチングと周辺宿泊施設での入浴をセットで楽しめるキャンペーンを実施する。

項 目	概 要
内 容	・初心者向けのバードウォッチングと温泉入浴をセットで行う。
対 象	・子ども（家族連れ） ・シニア層
主 体	・恵那峡遊覧船 ・宿泊施設（恵那峡グランドホテル、かんぽの宿恵那、湯快リゾート）
場 所	・恵那峡の湖面 ・デッキテラス
協 力	・遊覧船の利用 ・日帰温泉の提供、料金の割引サービスなど
課 題	・ガイドの充実 ・チケット購入の利便性の向上 ・合同で開催するイベント(イルミネーション 等)があると良い など
場 所	 The map shows the Ena Gorge area with various landmarks and facilities. Key locations marked include: 遊覧船・船上から観察 (Cruise ship/observation from the ship): Indicated by a red dot on the lake. ウオッチングポイント (Watching point): Indicated by a red dashed line along the lake shore. デッキテラス等・観察 (Deck terrace etc./observation): Indicated by a red dot on the shore. 宿泊施設・入浴 (Accommodation/entry): Indicated by a red dot near the bottom of the map.



平成 25 年度実施時の P R チラシ

【参考】その他に考えられるソフト事業の例

No.	事 例	取組	主な対象※	季節
1	恵那峡森林ウォーキング	自然	ファ・シニ	春～冬
2	恵那峡・スケッチ・ツアー	自然	ファ・シニ	春～冬
3	恵那峡・七夕まつり	自然	ファ・シニ	夏
4	えな・森のページェント	自然	ファ・シニ	秋～冬
5	恵那峡バードウォッチング	自然	シニ	冬
6	恵那峡・音楽祭	自然・体験	ファ・シニ	春・秋
7	ハーブ菜園・体験	自然・体験	ファ・シニ	春～秋
8	恵那の森・宝探しゲーム	自然・体験	ファ	春～秋
9	恵那の森・工作教室	自然・体験	ファ・シニ	春～秋
10	恵那峡・むかし遊び体験	自然・体験	ファ	春～秋
11	恵那峡ナイト・ミュージアム	自然・体験	ファ・シニ	夏
12	恵那の森・むし取り大会	自然・体験	ファ	夏
13	えな・水と森の自然体験教室	自然・体験	ファ	夏
14	恵那峡の森づくり活動	自然・体験	シニア	冬
15	恵那峡そうめん流し大会	食	ファ	夏
16	えな・縁日	食	ファ・シニ	夏
17	恵那峡夕涼みガーデン	食	ファ・シニ	夏
18	エナ・オクトーバーフェスト	食	ファ・シニ	秋
19	お菓子、スイーツ・ラリー	食	ファ・シニ	秋
20	えな和菓子づくり体験	食・体験	ファ・シニ	秋
21	恵那峡・餅つき大会	食・体験	ファ・シニ	冬
22	大井ダム見学ツアー	体験	ファ・シニ	春～冬
23	えな・森のフリーマーケット	体験	ファ	春・秋
24	えな・お化け屋敷	体験	ファ	夏
25	恵那峡イルミネーション（Xmas など）	体験	ファ・シニ	冬

※「ファ」：ファミリー、「シニ」：シニア

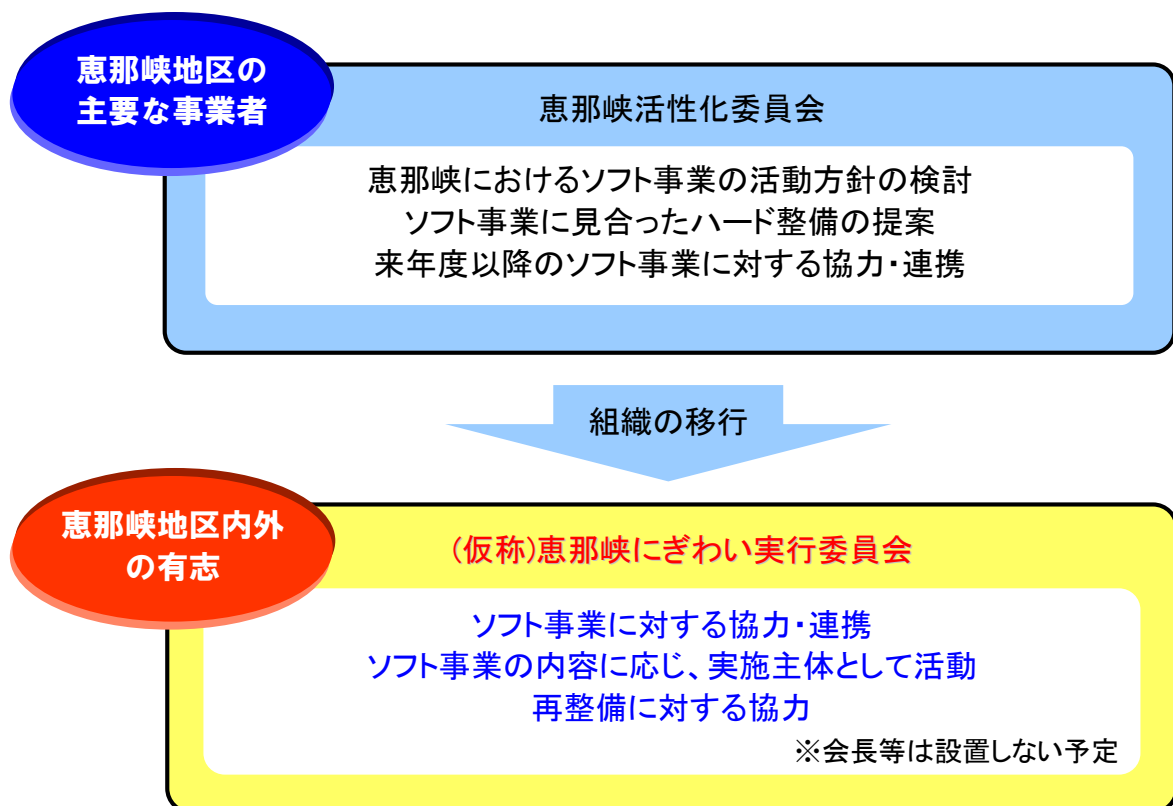
3-3 実施体制

(1) 今後の恵那峡のにぎわいづくりの組織

今後の恵那峡のにぎわいづくりの組織は、平成 25 年度にソフト事業の進め方を話し合った恵那峡活性化委員会のメンバーのほか、その他のメンバーを含めて構成する「(仮称)恵那峡にぎわい実行委員会」の組織化をめざす。

(仮称)恵那峡にぎわい実行委員会は、恵那峡活性化委員会が恵那峡地区の主要な事業者を対象として構成していたのに対し、恵那峡地区の内外の有志で構成するものである。

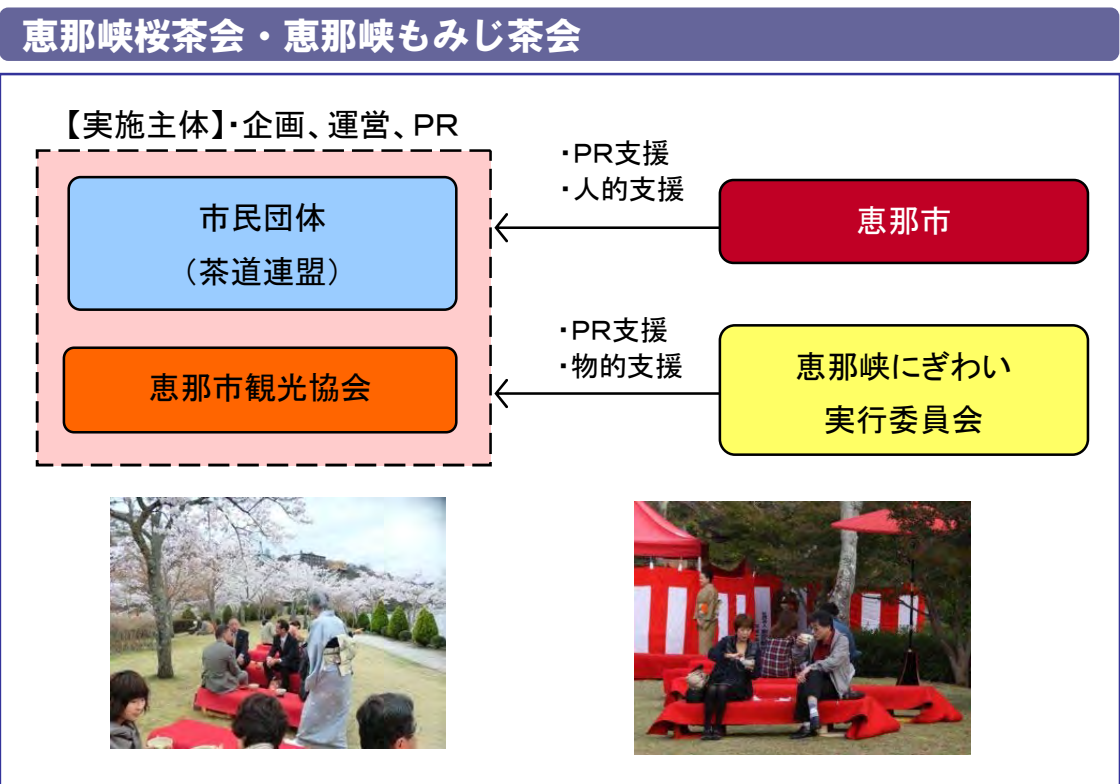
また、大半の人がそれぞれの仕事や日常の取組があり、会長・副会長等の役職に就いて活動を主体的に^{けんいん}牽引していく負担は大きいと推測されるため、ソフト事業等を新たに開催していく当面の間については、恵那市や観光協会が実施主体に加わって企画・運営を支援していくこととする。



(今後の恵那峡のにぎわいづくりの組織)

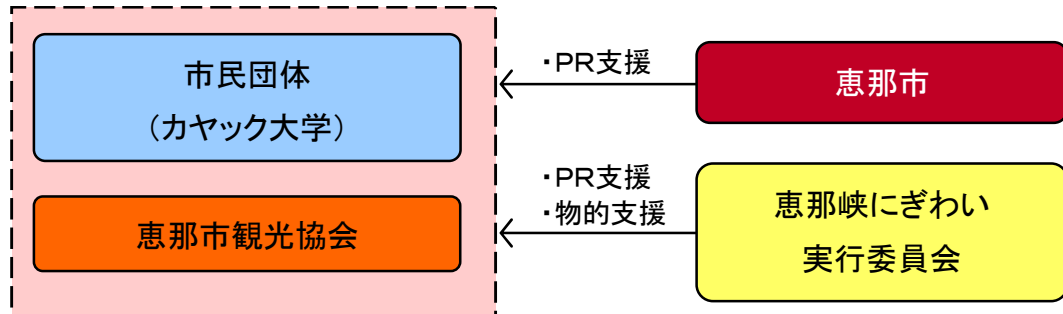
（２）ソフト事業ごとの実施体制（案）

ソフト事業ごとの実施体制（案）は以下のとおりである。



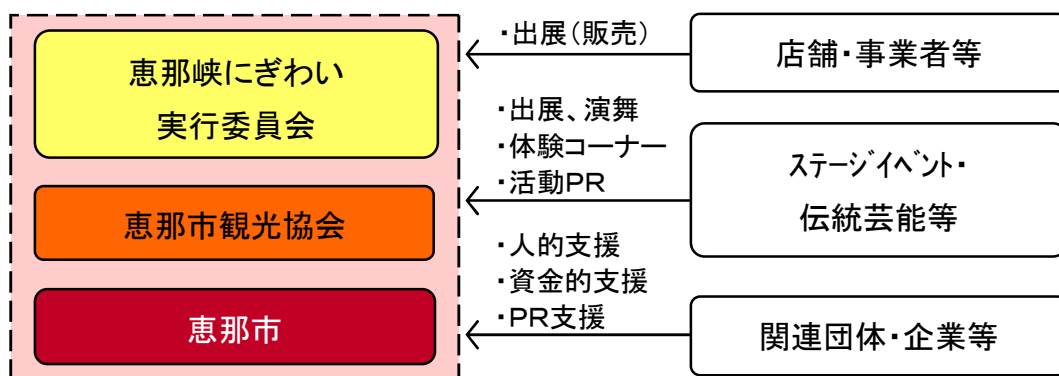
恵那峡カヤック・ボート体験

【実施主体】・企画、運営、PR



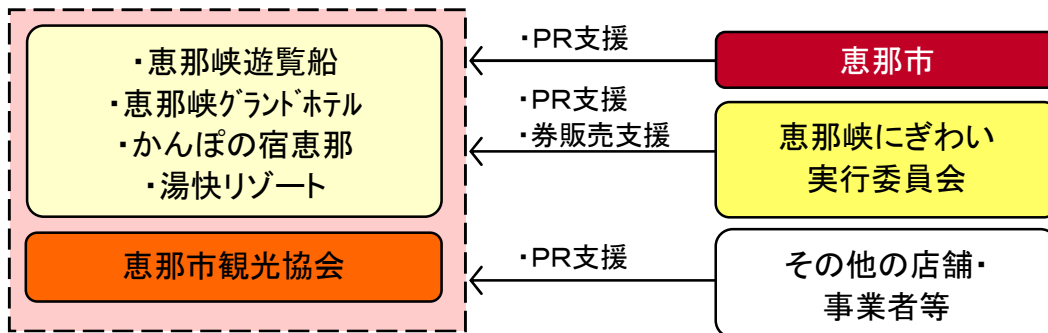
恵那の物産市 [えなマルシェ]

【実施主体】・企画、運営、PR



恵那峡バードウォッチング・温泉めぐり

【実施主体】・企画、運営、PR



3-4 活動計画

(1) ソフト事業の活動計画（案）

ソフト事業の活動計画（案）は、先に設定した実施するソフト事業（案）を踏まえ、以下のスケジュールにより実施を予定する。

なお、恵那の物産市〔えなマルシェ〕と恵那峡もみじ茶会は同日開催として、当面は平成25年度のもみじ茶会と同様の11月上旬を予定する。

しかし、将来的には、紅葉の見頃で来訪者の多い時期の方が効果は高いと考えられるため、関連機関や団体との調整のうえ、11月中下旬の開催を検討していく。

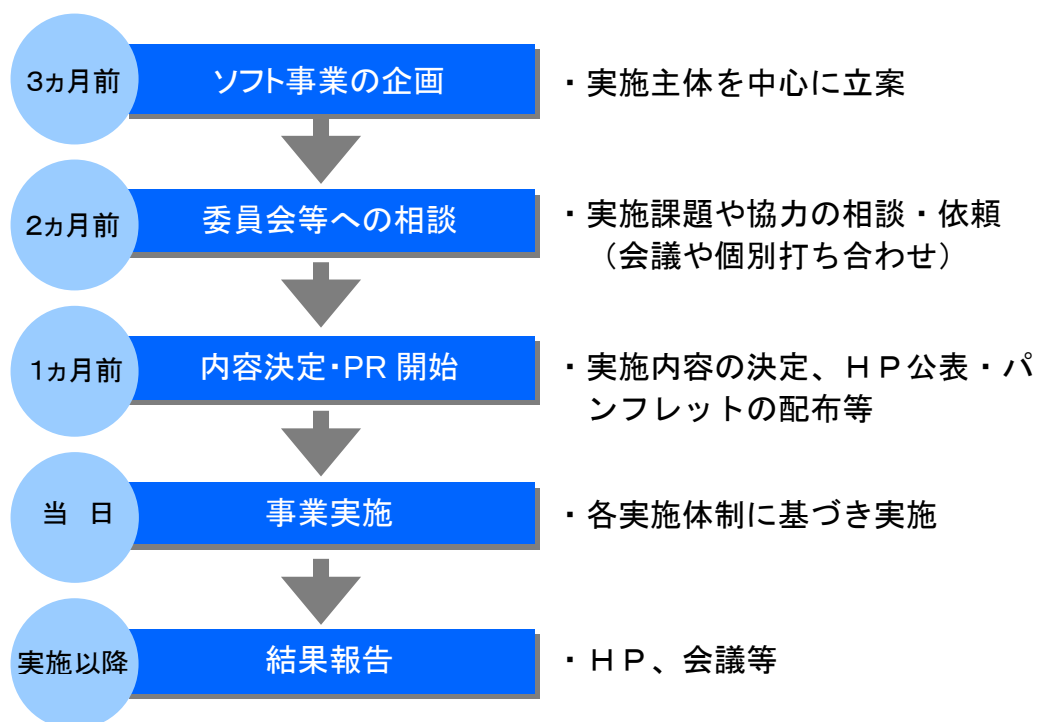
（ソフト事業の活動計画（案））

月	ソフト事業	備考
4	【上旬】恵那峡桜茶会	上旬：さくらまつり、弁財天法要
5		ゴールデンウィーク
6		
7		
8	【上旬】恵那峡カヤック・ボート体験	夏休み
9		
10		
11	【上旬】恵那の物産市〔えなマルシェ〕 恵那峡もみじ茶会	中下旬：紅葉の見頃
12	【12月頃から3月頃】 恵那峡バードウォッチング・温泉めぐり	クリスマス
1		お正月・冬休み
2		バレンタイン
3	【下旬】恵那峡クリーン・ウォーク	

(2) ソフト事業の進め方（案）

先に示したソフト事業ごとの実施体制（案）の実施主体を中心に、概ね3ヵ月前にソフト事業の企画を立案する。その後、実施課題や協力の相談・依頼があれば、（仮称）恵那峡にぎわい実行委員会への相談や個別打ち合わせ等を行う。

概ね1ヵ月前に内容を確定し、PRを開始する。



（ソフト事業の進め方（案））

4. 今後の課題

恵那峡を再生させるためには、単に恵那峡付近を再整備するだけでは成り立たない。周辺地域等との連携を図るとともに、恵那峡へのアクセスなどの交通の利便性を高める必要がある。

また、より多くの来訪者に恵那峡に来てもらうとともに、広く市民や企業を巻き込んでソフト事業を継続的に実施していく必要がある。

近隣地域や企業等との連携

- ◆ 近隣の観光資源や施設と連携し、パッケージで周遊できるような観光選択肢の拡大、補充
- ◆ 恵那峡自然公園付近だけでなく、銀の森、恵那川上屋、恵那寿やを含めた恵那峡一体での観光地づくり
- ◆ 思い出に残る時間づくりができる空間やまち並みの演出

アクセス周遊の交通利便性の確保

- ◆ リニア中央新幹線開通に合わせた道路・施設整備
- ◆ 高速道路インターチェンジからの道路整備
- ◆ 恵那峡へのアクセスや周遊のための公共交通機関・移動手段の利便性向上
- ◆ 恵那峡サービスエリアへのスマートICの設置



(恵那峡までのアクセス)

P Rの充実

- ◆ 市内はともかく、来客が見込まれる県内や東海地方へのP Rの充実
- ◆ ソフト事業の具体的内容が決定次第、できる限り早期の情報発信
- ◆ イベント当日の恵那峡地区の来訪者に対するP Rの充実

市民等の参加・協力

- ◆ 市民等への恵那峡の観光資源や本計画の周知による、恵那峡やソフト事業への関心の向上
- ◆ 資金、人材及び技術面などにおける市民や企業等の参加・協力の充実
- ◆ 地域全体における「おもてなし」の意識醸成や行動促進

社会的ニーズへの対応

- ◆ 外国人観光客や元気な高齢者の増加、また、I T技術の向上やリニア中央新幹線開業などに伴う、新たな社会ニーズに対応したソフト事業の展開
- ◆ 「恵那峡」でしか体験できない、食べることのできない、買うことができないような商品やサービスの開発による地域ブランドの創出

事業の実施効果の把握・検証

- ◆ 利用者数や利用者満足度、費用対効果など、ソフト事業の実施効果の把握とそれに基づいた事業の改善・見直し

施設等の利用のルールづくり

- ◆ イベント等のために有料施設を設定する場合は、使用方法を定める条例などのルールづくり（（仮称）恵那峡公園設置条例の制定）